日本外采小児科

ガイドブック



-Liaison- リエゾン

多職種の限りない連携を目指し





TSU





開催日 2017/9.2 4 3 5

前夜セミナー 9/12



三重県総合文化センター 重県総合博物館(三重県津市)

頭 落合 仁(落合小児科医院)

■事務局長 近藤 久(近藤小児科医院)

■実行委員長 梅本 正和(うめもとこどもクリニック)

年次集会公式ウェブサイト

http://web.apollon.nta.co.jp/sagpj2017/

[運営事務局] 株式会社 日本旅行 西日本MICE営業部

〒530-0001 大阪市北区梅田1-11-4 大阪駅前第4ビル5階 TEL:06-6342-0212 FAX:06-6342-0214 E-MAIL: 27th_sagpj@nta.co.jp

CONTENTS

- 1. 会頭挨拶
- 2. 年次集会概要
- 3. タイムテーブル [前日/9月1日(金)][1日目/9月2日(土)][2日目/9月3日(日)]
- 4. 会場アクセス・周辺図
- 5. 参加登録・懇親会・ランチョンセミナー(LS) 事前登録
- 6. ワークショップ(WS) 事前参加申込
- 7. ワークショップ(WS)一覧
- 8. 一般演題募集のご案内 募集
- 9. パネル展示募集のご案内 募集
- 10. 患者家族の会・支援者の会展示募集のご案内 募集
- 11. ハンズオンセミナー(HS)のご案内 事前登録
- 12. 講演のご案内
- 13. シンポジウム・スポンサードセミナーのご案内
- 14. メディカルスタッフミーティングのご案内
- 15. オープンクリニックネットワークのご案内 募集
- 16. 前夜セミナーのご案内
- 17. 託児室のご案内 事前申込
- 18. 宿泊のご案内 予約申込
- 19. 市民公開講座のご案内
- 20. 「桑名の千羽鶴 | 体験イベントのご案内
- 21. 日本外来小児科学会入会手続きについて

事前参加登録



受付日程 一覧

懇親会参加登録 LS参加登録 WS参加登録 HS参加登録 一般演題募集 パネル展示募集 患者家族の会・支援者の会展示募集 オープンクリニックネットワーク 託児事前申込 宿泊予約申込 4月17日(月)~7月 7日(金) 4月17日(月)~7月 7日(金) 5月中旬~7月 7日(金) 4月16日(日)~5月26日(金) 4月17日(月)~5月26日(金) 4月17日(月)~5月26日(金) 4月17日(月)~5月26日(金) 4月17日(月)~5月26日(金) 4月17日(月)~5月26日(金) 4月17日(月)~5月26日(金) 4月17日(月)~5月26日(金)

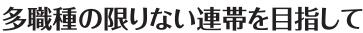
4月17日(月)~8月18日(金)

- 「日本小児科学会専門医認定研修会として8単位(旧制度)、1単位(新制度)」
- 「日本小児科医会地域総合小児医療認定医制度研修会として、新規10単位・更新5単位」
- 「日本小児神経学会小児神経専門医制度認定研修会として2単位」が取得できます。



当学会は子どもの健康を守るために禁煙運動を推進しております。 年次集会会場では全面禁煙といたしますので、参加される皆様のご協力をお願いいた します。

第27回日本外来小児科学会年次集会リエゾン-Liaison-





第27回日本外来小児科学会年次集会 会頭 落合 仁 [落合小児科医院]

第27回年次集会を三重県津市(三重県総合文化センター・三重県総合博物館MieMu)で開催させていただきます。

第4回研究会は「家族とかかりつけ医のリエゾン」をテーマに、三重病院の故神谷齊先生が主催され、くしくも4半世紀後の今回もリエゾンをテーマに「多職種の限りない連携にむけて―リエゾン(連携)―」にさせていただきました。皆さんは普段診療所から地域に出て子どもたちのために、さまざまな活動を実践してみえると思います。この活動が十分力を発揮するためにも、メディカルスタッフや多職種との協働がなければ一歩も前進しないのではないかと考えます。

会員の皆様はじめ、年次集会に参加される方々に、子どもを育てやすい社会・子どもが育ちやすい社会の 構築を目指して成育サイクルを基に活動する三重での取り組みをもとに、医療という枠の中でだけでなく 教育・福祉・保健その他、地域の人的資源との連携を実行委員会で考え、感染・ワクチン・アレルギー・乳幼児 保健・小児看護・発達障害・虐待・性の問題・園学校医・在宅医療などのセッションを設けました。

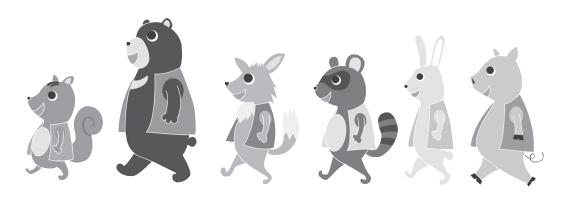
年次集会には多くのメディカルスタッフの方が参加していただけることから、本年はメディカルスタッフの日常診療での気づきと実践にむけてセミナーを多数企画いたしました。

学会活動の柱である研究・診療の質の向上、教育・アドボカシーに関するワークショップ、一般演題も日頃の研鑚の成果を発表・討論していただけるように企画させていただきます。

また、興味を持っていただけるような特別講演・教育講演・ハンズオンセミナー・市民公開講座をたくさん 準備致しました。タイムスケジュールを確かめ少しでも多くの講演を聞いていただければ幸いです。

最後に、本年次集会を開催するにあたり実行委員会を立ちあげた時からご助言いただき、会運営に全力をつくしていただいた元三重病院院長故庵原俊昭先生に捧げるをテーマに臨床ウイルス等の重要性を特別講演の中にとりあげさせていただきました。

ぜひとも多くの方のご参加を三重県津市でお待ちしています。



2. 年次集会概要

テーマ リエゾン-Liaison- 多職種の限りない連携を目指して

会 期 2017年9月2日(土)~3日(日) 前夜セミナー:9月1日(金)

会 場 三重県総合文化センター 三重県津市一身田上津部田1234

三重県総合博物館 三重県津市一身田上津部田3060

会 頭 落合 仁(落合小児科医院/三重県亀山市)

実行委員長 梅本 正和(うめもとこどもクリニック/三重県津市)

事務局 近藤久(近藤小児科医院/三重県桑名市)

公式ウェブサイト http://web.apollon.nta.co.jp/sagpj2017/

全体集会 9月2日(土)午後

会頭講演 9月2日(土)午後

「人と出会いのリエゾン」

懇親会(三重県総合文化センター) 9月2日(土)夜

要参加申込·有料

三重県は松阪牛、伊勢エビを初めとする食材が豊富です。今回、ブラックカレーも登場しますが、これは松阪肉を煮込んだカレーで是非一度ご賞味ください。皆様のご歓談の支障にならぬよう、配慮させていただこうと思っています。

ワークショップ(WS) 9月2日(土)午前、9月3日(日)午前

要参加登録

全国から集まった参加者が意見を出し合い、討論を通じてお互いに刺激し合いながら、自分たちにしか作れないオリジナルのプロダクトや参加者自身の行動変容を目指します。

新しい気づきや体験は、参加者にとってかけがえのない経験となるでしょう。

一般演題 口演:9月2日(土)午後 ポスター:9月2日(土)、3日(日)

日常の診療に関連するリサーチだけでなく、診療活動や現在進行中の内容に関する演題でも構いません。医師だけでなくスタッフの方々からの応募も大歓迎です。診療活動など気軽に発表してください。

各種展示 9月2日(土)、3日(日)

患者家族の会・支援者の会/パネル展示/協賛企業展示

ハンズオンセミナー(HS) 9月2日(土)、3日(日)

要事前登録

HSは6つあります。吸入指導、食物アレルギー食対応の調理、湿潤療法、スキンケア、電話相談の5つと、メディカルスタッフ用に1時間ですが、救急処置のHSがあります。

会頭指定講演 9月3日(日)午後

赤ちゃん訪問の源流を知る、米国在住のヘネシー澄子さんに、子育て・愛着について幅広い心温まるお話をしていただきます。

特別講演 9月2日(土)午前

土曜日に3つ企画いたしました。①三重病院の藤澤隆夫さんに「アレルギー」、②「臨床ウイルスと研究のおもしろさ」を北里生命科学研究所の中山哲夫さんと、くまがい小児科の熊谷卓司さんに、③小児科医で参議院議員の自見はなこさんに「子どもの未来」に関して、それぞれお願いいたしました。

教育講演 9月2日(土)午前•午後、9月3日(日)午前

14演題を企画いたしました。医療のエキスパートにお願いしてあり、テーマを絞ってありますので、その分野の知識を得るには絶好の機会かと思います。メディカルスタッフのための講演として2つご用意しました。東京家政大学の及川郁子さん「外来看護」と、「ワクチン」に関して川崎医科大学総合医療センターの中野貴司さん、国立感染症研究所感染症疫学センターの神谷元さんにお願いいたしました。

シンポジウム 9月2日(土)午前・午後、9月3日(日)午前

シンポジウムは9つあります。健診、在宅、性、虐待、発達障害、救急、食物負荷の7つ。看護のシンポとして、「多様性をもつ看護」のエキスパートのお話と、薬剤師のシンポとして、「育児支援」をテーマにしたものを企画いたしました。

スポンサードセミナー 9月2日(土)午前・午後、9月3日(日)午前

「ワクチン」をテーマに3つ企画しました。

①予防接種のトラブル防止の工夫 ②日々診療でのワクチン啓発と今後 ③リスクに応じたワクチン接種

オープンクリニックネットワーク 9月2日(土)午後

ネットワークからの見学を取り入れた新規開業した事例を紹介いたします。

園学校保健セミナー 9月3日(日)午前

市民公開講座

- ①沖縄大学の盛口満さんに「恐竜とフライドチキン」と題して面白いお話をしていただけると思います。9月2日(午後)
- ②富山の児童精神科医の明橋大二さんに「子育てハッピーアドバイス」と題して、とてもためになるお話をしていただきます。9月3日(午後)

メディカルスタッフミーティング 9月2日(土)午後

土曜日の午後、「おもてなし」をテーマに企画しました。

前夜セミナーのご案内 9月1日(金)夜

軽食あり・事前登録不要・無料

学会前日夜に、心臓突然死と院内感染に関しての2つのセミナーを企画いたしました。軽食を用意いたしますが、数に限りがございます。

託児サービス 9月2日(土)、9月3日(日)

要申込み 有料

託児所を会場内に設置いたします。事前申し込みが必要です。本ガイドブック、年次集会ウェブサイトで詳細をご確認ください。

こどもどこセミナー in 年次集会

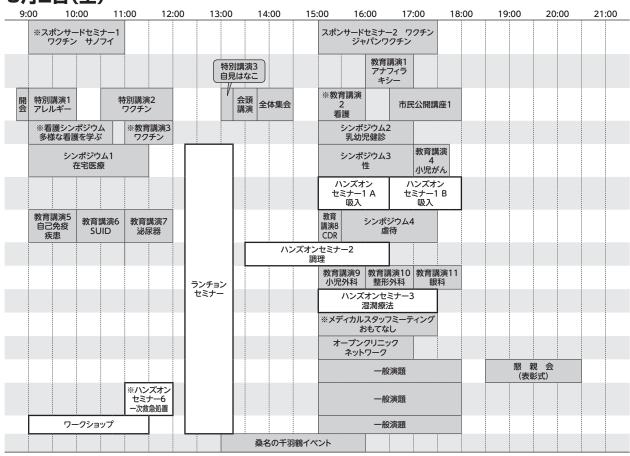
「こどもどこ」は、小児科に興味がある、医学部生・初期研修医のためのグループです。年に5~6回程度、ワークショップを様々な先生を講師にお招きしながら、参加者をメーリングリストやネットで募り、全国の大学や小児科学会などで開催しています。

3. タイムテーブル

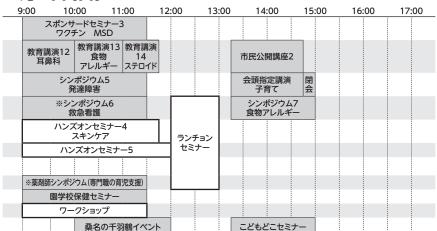
9月1日(金)

9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00
										セミン心臓乳	夜 ナー1 突然死 学する	
										セミ スタン とも(夜 ナー2 ソフと こ考え 内感染	
										代議員会		
								役 員	会			
										ネットフ会議		

9月2日(土)



9月3日(日)



□□ 太枠は事前登録

※メディカルスタッフへお勧めするセッション

4. 会場アクセス・周辺図

会場

①三重県総合文化センター

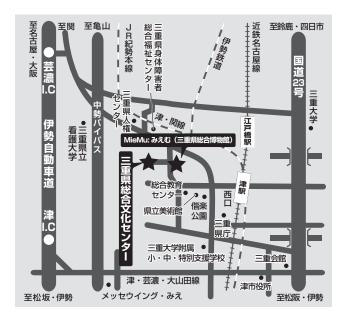
〒514-0061 三重県津市一身田上津部田1234 TEL:059-233-1111

②MieMu 三重県総合博物館

〒514-0061 三重県津市一身田上津部田3060 TEL:059-228-2283

※三重県総合文化センター向かい





交通アクセス

■電車でお越しの方 [最寄り駅/近鉄名古屋線・JR紀勢本線・伊勢鉄道 津駅]



シャトルバス

会期中、**津駅西口**より無料シャトルバスを運行いたします。

- ※座席、運行本数には限りがございます。お待ちいただく場合もございますのでご了承ください。
- ※年次集会開始前、終了後は大変混雑が予想されますので、公共交通機関も合わせて、ご利用ください。

近 鉄-	近 9/2(土)		9/3(日)	
<u></u>	6	-	6	
R R	7	30 35 40 45 50 55	7	30 35 40 45 50 55
() 津要駅	8	00 5 10 15 20 25 30 35 40 45 50 55	8	00 5 10 15 20 25 30 35 40 45 50 55
要駅	9	00 5 10 15 20 25 30 35 40 45 50 55	9	00 15 30 45
約並	10	00 15 30 45	10	00 15 30 45
片重	11	00 10 20 30 40	11	00 10 20 30 40 50
連 窓	12	00 10 20 30 40	12	00 15 30 45
5.会	13	00 15 30 45	13	
忍花	14	00 15 30 45	14	
約片道 5分) 三重県総合文化センタ	15		15	
タ	16		16	
	17		17	

=		9/2(土)		9/3(日)
(所要・約片道三重県総合文化センター	9		9	
県 終	10		10	
金	11	40 45 50 55	11	40 45 50 55
製文	12	00 15 30 45	12	00 15 30 45
را الرام	13	00 10 20 30 40 50	13	00 10 20 30 40 50
型と	14	00 15 30 45	14	00 15 30 45
道〔	15	00 15 30 45	15	00 20 30
5 if	16	00 15 30 45	16	00 20 30
5 分 3 5 3 3 3 3 3	17	00 15 30 40 50	17	
j	18	00 10 20	18	
J R	19	00 15 30 45	19	
津駅	20	00 10 20 30 40 50	20	_
750 (21		21	

5. 事前参加登録・懇親会

申込日:2017年4月17日(月)~7月7日(金)

■年次集会参加費

参加区分	事前登録	当日登録	懇親会会費
医師•一般	15,000円	17,000円	5,000円
メディカルスタッフ	8,000円	10,000円	5,000円
初期•後期研修医		5,000円	5,000円
学 生	無	料	5,000円

- ○上記参加費にはプログラム抄録集は含まれません。
- ◎学会会員の方には登録された施設または住所に直接プログラム抄録集が送付されます。当日忘れずに お持ちください。
- ◎会員以外の方でプログラム抄録集が必要な場合は、事前登録される際に合わせてお申し込みください。
- ◎プログラム抄録集が別途必要な場合、及び当日お忘れの場合は、総合受付で1冊2,000円で販売いたします。
- ◎「メディカルスタッフ」とは、医療機関で働く医師以外の全ての職種を指します。
- ◎「学生」の方は、総合受付にて学生証を提示してください。提示のない場合は「一般」の区分になります。 看護学生であっても、医療機関で勤務しているスタッフは「メディカルスタッフ」の区分になります。その他の 医療系専門学校生徒などの割引料金設定はありません。
- ◎事前参加登録終了後は、当日登録のみとさせていただきますのでご了承ください。

【専門医制度認定単位について】

- 日本小児科学会専門医認定研修会として8単位(旧制度)、1単位(新制度)
- 日本小児科医会地域総合小児医療認定医制度研修会として、新規10単位・更新5単位
- 日本小児神経学会小児神経専門医制度認定研修会として2単位が認められます。

【申込み方法】

第27回日本外来小児科学会年次集会HP(http://web.apollon.nta.co.jp/sagpj2017/sanka_ls.html) よりお申し込みください。インターネットでのお申し込みができない場合は、(株)日本旅行西日本MICE営業部参加登録申込担当まで申込書をご請求いただき、FAXにてお申し込みください。

- 1) Apollonシステムのバージョン更新の為、学会ごとに『新規利用登録』が必要となりました。「新規利用登録」をクリックして「代表者個人情報登録」画面へ進んで個人情報を設定後、「参加登録」を行ってください。
- 2) 予約確定後、ご登録いただいたメールアドレスあてに確認メールを送信いたします。 (確認メールが届かない場合はアドレスの入力間違い等が考えられます。 (株)日本旅行西日本MICE営業部 参加登録申込担当までお問い合わせください。)

【懇親会について】

参加者の懇親と情報交換の場として懇親会を行います。 懇親会のみのお申し込みは出来ませんのでご了承ください。

懇親会参加費	5,000円/人
同伴者(中学生以上)	5,000円/人

日 時:2017年9月2日(土) 18:30~20:30

会 場:三重県総合文化センター 文化会館(文化棟)1F 第1ギャラリー・第2ギャラリー

【ランチョンセミナー(LS)について】

LSは事前参加登録をお願いいたします。まず年次集会への参加登録後に年次集会ウェブサイトよりお申し込みください。

当日は空席のあるLSにのみ参加可能です。内容が決定次第、順次年次集会ウェブサイトで公開いたします。各自ご確認の上、7月7日(金)までに登録をお済ませください。

【昼食について】

LSではお弁当を用意しております。

【お支払方法について】

お支払締切日:2017年7月7日(金)までにお支払ください。

1) 確認メールまたはご請求書等が届きましたら、予約内容・請求金額をご確認の上、期限までにお支払ください。

期限までにお支払がない場合、全ての事前登録は無効となりますのでくれぐれもご留意ください。 7月7日までであれば、変更取消に伴う返金はできますので、予約内容が決まりましたら、2週間以内に お支払くださるようにおすすめいたします。

2) お支払方法は、「クレジットカード」または「コンビニ決済」のいずれかにてお願いいたします。 ご希望のお支払方法をお申し込み時にご選択ください。(宿泊費とあわせてお支払いただけます。) ※コンビニ決済の場合、手数料はお申込み者負担にてお願いいたします。

【変更・取消について】

変更及び取消のご連絡は、行き違いをさけるため、必ずFAX·E-mailなどの書面にてお願いいたします。

なお、お電話での受付は致しかねますので、何卒ご了承ください。

手配並びに準備の都合上、取消に伴う参加登録費・懇親会費のご返金は、7月7日を過ぎた場合は一切できませんのでご了承ください。

【年次集会事前参加登録の当日までの流れについて】

開催前に参加証、プログラム抄録集(申し込まれた方のみ)、LS整理券等をお送りいたします。(8月上旬頃発送予定)

入金済にも関わらず8月21日(月)を過ぎてもプログラム抄録集が届かない場合は、下記までお問い合わせください。当日はお送りした参加証等を必ずお持ちください。お忘れになった場合は総合受付、または日本旅行デスクにお問い合わせください。

[参加証着用のお願い]

当日はネームホルダーをご用意しております。学会参加中は、首から下げてご参加ください。

■お申込み及びお問い合わせ

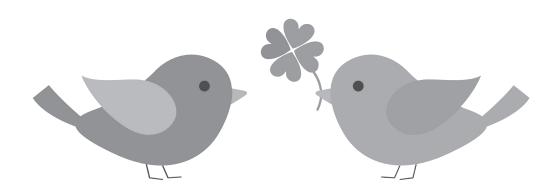
(株)日本旅行 西日本MICE営業部内 『第27回日本外来小児科学会年次集会』

参加登録申込担当:谷·池田

〒530-0001 大阪市北区梅田1-11-4大阪駅前第4ビル5F

FAX: 06-6342-0232 Email: wj gakkai@nta.co.jp

営業時間:平日9:45~18:15(土日祝休)



6. ワークショップ (WS) 参加登録のご案内

事前参加登録期間:2017年4月16日(日)~5月26日(金)

今回は9月2日(土) 9:00~11:30と9月3日(日) 9:00~11:30の2つの時間帯に開催いたします。参加者全員が意見を述べるワークショップ(以下WSと略します)本来の形を重視して、各WS主催者によりおよその人数(WS主催者を含む)が設定されています。10ページ以降をご参照ください。ハンズオンセミナー(HS)もWSと年次集会公式ウェブサイトより申し込みができます。同じ時間帯のWSに複数参加することは出来ません。

■申込方法

- WS参加のお申し込みは年次集会公式ウェブサイト (http://web.apollon.nta.co.jp/sagpj2017/)からのみとさせていただきます。 ※HSと時間が重なる場合がありますのでご注意ください。
- 2. トップページ左にある WS参加登録 サイトを開いてください。
 WS参加登録サイトを開いた後は、まず連絡先のメールアドレスを登録します。登録予定のアドレスから
 ws-sankakibou@future.or.tv に空メール(タイトルも内容もないメール)を送ってください。5分ほどで
 返信メール*が届きます。メールの指示に従って、リンク先**を開いてお申し込みください。申込みは
 携帯電話のアドレスからも可能です。WSの詳しい登録 方法は、WS参加登録サイトの 参加登録手順 を
 ご参照ください。(今回のWS参加登録システムは、第22回年次集会事務局の山本 淳さんのご厚意に
 より、第22回~第26回と同様のWS参加システムを使用させていただきました。感謝申し上げます。)

なお、年次集会公式ウェブサイトから、WSの登録状況をあらかじめ確認できますので参考にしてください。

- 3. WSに参加される方は原則、年次集会事前参加登録をお願いいたします。 今年度は、WS参加登録の混乱をさけるため登録開始日を、他の登録より1日早く4月16日(日)からとなります。したがって年次集会事前参加登録は、4月17日(月)からとなりますので、WS参加登録後にお願いいたします。
- * 返信メールが届かないときは、迷惑メール(スパムメール)フィルターによって、迷惑メール扱いのボックスに入っていることがあります。web メール(Gmail、yahooなど)をご利用の方は特にご注意ください。
- **リンク先のアドレスは長くなっていますので、自動桁折れ設定をしている方は設定を解除しアドレスがつながるようにしてください。

■参加申込WSの決定と通知

WS参加の諾否は第27回日本外来小児科学会事務局*から連絡いたします。6月12日(月)になっても本会事務局から連絡がない場合は、第27回日本外来小児科学会年次集会ワークショップ担当(27sagpj-workshop@freeml.com)までご連絡をお願いいたします。

* 事務局からの連絡は ws-office@future.or.tv から行います。このアドレスからのメールを拒否しないようにしてください。

■WS情報

1. WS番号

WS2:2日(土)のWSを表します。 WS3:3日(日)のWSを表します。

2. 進め方

研修型:講義や発表の内容を確認しながら討論し、学習内容をまとめて成果とします。 問題解決型:提示された問題について解決策を討論し、その結果を成果とします。

3. 定員

最大参加人数を示しています。一部のWSでは同一施設からの申込人数に制限があります。

4. 参加費

無料のWSと有料のWSがあります。有料のWSに参加される方は、参加費を当日WSリーダーにお支 払いください。会計処理は各WSでお願いいたします。WSリーダーは予め参加者に対して費用の大 まかな内訳を提示してください。

5. 当日参加の可否

当日参加「不可」のWSは参加が予め決定している方だけが参加できます。必ず事前登録をしてくださ い。

当日参加「可」のWSは原則的に当日参加できますが、事前登録で定員に達している場合は当日参加 ができないこともあります。できるだけ事前登録することをお勧めいたします。

6. 対象

参加者の職種に制限を設けているWSがあります。お申し込みの際にはご注意ください。

7. アンケート

WS終了後、全てのWSのリーダー・サブリーダーならびに参加者を対象としたアンケートを実施いた します。

> 年次集会 WS 担当: 早川豪俊·水谷健一·松田和之 E-mail: 27sagpj-workshop@freeml.com



7. ワークショップ (WS) 一覧

9月2日(土) 9:00~11:30

※年次集会公式ウェブサイトからの参加登録をお願いいたします。

WS番号	テーマ	リーダー名	定員
WS2-1	子どもの心のサインを読みとる② ・・・ロバートソンフィルムを教材にして・・・	松原 徹	40
WS2-2	発達障害児への服薬支援	松本康弘	30
WS2-3	定期予防接種委託料金の算定根拠を検討する	藤岡雅司	30
WS2-4	子どもの貧困に気づき支援するためにPart2	和田 浩	40
WS2-5	「WISCを支援に繋げよう」	高田 修	40
WS2-6	保育士はもっと積極的に保護者をサポートしよう!Ⅲ ~多職種による保護者支援の実践に向けて~	宇野久美子	30
WS2-7	離乳食を科学的に語ろう	岡田清春	30
WS2-8	自分らしく生きるために「アドラー心理学」を学んでみませんか?	吉田 均	40
WS2-9	「えっ、薬を飲まない!?さぁ困った・・どんなアドバイスをしよう?」 〜事例からみんなで考え演じてみよう!〜	齋藤栄二	40
WS2-10	質的研究方法をみんなで検討しよう! ~これからはじめる人も、すでにはじめた人も~	齊藤匡	20
WS2-11	明日からもっとうまくなる小児科での禁煙支援	牟田広実	30
WS2-12	「乳幼児の本当の遊びとは」〜一緒に考えましょう!〜	蜂谷明子	40
WS2-13	予防接種アプリを評価する	岡藤隆夫	40

9月3日(日) 9:00~11:30

※年次集会公式ウェブサイトからの参加登録をお願いいたします。

WS番号	テーマ	リーダー名	定員
WS3-1	小児救急初療コース (Triage & Actionコース:小児T&Aコース)	茂木恒俊	40
WS3-2	服薬指導への取り組みその16 「子どものお薬手帳を活用してみよう」	高橋肇	40
WS3-3	外来での事故防止を進めよう 〜事故防止対策の企画・運営を学んでみませんか〜	及川郁子	40
WS3-4	地域医療の中での小児科医の役割	松浦伸郎	30
WS3-5	赤ちゃんの食物アレルギーが心配な保護者への離乳食支援	土屋千枝	20
WS3-6	小児科外来における未成年への禁煙支援をどうするか?	野田隆	20
WS3-7	前向き子育て十か条を考えよう	藤田一郎	40
WS3-8	始めてみよう、小児漢方!~アレルギー疾患に対する漢方薬~	森 蘭子	40
WS3-9	食物アレルギーに関する新しいエビデンス	伊藤純子	30
WS3-10	みんなが笑顔になれる母乳育児支援 ~それぞれの母子のもつ力を活かして支援する小児科外来に~	江田明日香	30
WS3-11	クリニック院長の幸せなリタイアを目指して	佐藤順一	40

WS2-1

子どもの心のサインを読みとる② …ロバートソンフィルムを教材にして…

リーダー

松原 徹(城東こどもクリニック)

サブリーダー

澤田 敬(カンガルーの会)

新津直樹(新津小児科)

藤田一郎(福岡女学院大学)

ロバートソンフィルムとは愛着理論を確立したボウルビィの弟子で あるロバートソン夫妻によって1950年代にイギリスで撮影された子 どもの発達心理行動の研究のためのフィルムです。そこには2歳前後 の子ども達が母親と分離され、「自分に何が起こっているのか分からな い」戸惑いと不安が克明に記録されています。

昨年このWSでは衝撃的な[JOHN]を視聴しました。今回は 「LUCY」を視聴します。Lucyは21ヶ月の女児。Johnと違って里親 の下で手厚いケアを受けて過ごします。Lucyは母親と分離されている 間、どんな様子をみせるでしょうか。また母親と再会したときに彼女が 見せる表情は?

前回同様、まず最初にフィルムを視聴し、その後幾つかのグループに 分かれ、子どもの仕草や表情から参加者それぞれが読み取った子ども の心の心理状態や感じたことを話し合います。そして愛着にまつわる病 理を理解し、日常診療や保育、育児支援に大切な心のサインを一緒に 再確認しましょう。

WSのタイプ	研修型	対象
定員	40名	
1施設からの定員	各職種2名	 制限なし
当日参加	空きがあれば可	ט אי אלוים
参加費	無料	

WS2-2

発達障害児への服薬支援

リーダー

松本康弘(ワタナベ薬局上宮永店)

サブリーダー

木下博子(大分こども病院医療技術部薬局)

福隅美鈴(鈴木小児科医院)

金原洋治(かねはら小児科)

発達障害がある児は医療現場において様々なトラブルを起こす。特 に、薬物治療を行う際、服薬を拒否したり、抵抗することが多々みられ る。一度、服薬拒否すると、その後も薬を服用できないことがあり、保護 者の悩みの種となっている。この様な場合、親だけに任せず、小児医療 に関与する医療関係者が協力して服薬支援する必要がある。

しかし、発達障害児の服薬支援の疾患によっても、またその程度に よって変える必要がある。また、服薬支援手本となる成書は少なく、各 医療機関は試行錯誤で対応している。今回、様々な現場での失敗事例、 成功事例をそれぞれの職種から集めて、それぞれのケースでどの様に 対応していけばよいか話し合っていきたいと思う。また、発達障害を専 門とする医師に同席してもらい、発達障害児への一般的な対応としてど うなのかを評価していただく予定である。

WSのタイプ	問題解決型	対象
定員	30名	
1施設からの定員	各職種1名	看護師·看護助手·
当日参加	不可	保育士·薬剤師
参加費	無料	

WS2-2

定期予防接種委託料金の算定根拠を検討する

リーダ-

藤岡雅司(ふじおか小児科)

サブリーダー

片岡 正(かたおか小児科クリニック)

定期接種は市区町村が実施主体であり、主に地域の医師会と委託契 約を締結して事業を運営していますが、委託料に関する内容は自治体 によってさまざまです。その主な理由として、委託料金の算定根拠が明 確になっていないことが考えられます。国は厚生科学審議会予防接種・ ワクチン分科会において「適切な問診料等の水準のあり方」を検討する ことになっていますが、実際は「初診料」「乳幼児加算」等の保険診療点 数が準用されています。しかし、予防接種にかかる多様な医療行為が、 疾病を対象とする保険医療と異なることは言うまでもなく、その差違を 明確にせず安易に現状の契約を続けることは適切ではありません。そ こで、本ワークショップでは、厚生科学審議会における議論に資するこ とを目的として、予防接種にかかる医療行為を詳細に分析し、定期接種 委託料の算定根拠を確立したいと考えています。定期接種事業に主体 的に関わっている医師の参加を希望します。

WSのタイプ	問題解決型	対象
定員	30名	
1施設からの定員	1名	医師 医師
当日参加	不可	
参加費	無料	

WS2-4

子どもの貧困に気づき支援するためにpart2

リーダー

和田 浩(健和会病院小児科)

サブリーダー

佐藤洋一(生協こども診療所)

山口英里(千鳥橋病院小児科)

酒井 慧(長野県立こども病院)

子どもの貧困問題への関心が高まっていますが、「自分のところの患 者さんにそういう人がいるかどうかわからない」「貧困を抱えた親子に 対して何をしたらいいかわからない」といった方も多いと思います。こ のWSは「貧困問題初心者」のために、入門レクチュア、全体での事例検 討、グループディスカッションを行い、「どうしたら貧困が見えるようにな るか」「医療者にどんな援助ができるか」を考え、その糸口がつかめるよ うにしたいと思います。

WSのタイプ	研修型	対象
定員	40名	
1施設からの定員	制限なし	 制限なし
当日参加	空きがあれば可	٥٥٠٥١٤١٦
参加費	無料	

WS2-5

WISCを支援に繋げよう

リーダー

高田 修(たかだこども医院)

サブリーダー

佐久間秀人(佐久間内科小児科医院) 多田香苗(愛育こどもクリニック)

学校や家庭などで困難さを抱えている子どもの支援には、保護者 の理解と本人の自己決定を元に、医療や教育、福祉などの多職種が連 携し協働することが必要です。その際WISC検査は、良さの観点から 子どもの特性を共通理解し、その子の可能性を探るのに優れたツー ルとなります。私たちは平成23年から5回のシリーズでワークショッ プ「WISCを体験しよう」を開催しました。WISC検査の構造を通して 子どもの認知機能を理解することを目標とし、そのプロダクトとして 「『WISCを体験しよう』ワークショップが目指すもの」を学会誌「外来 小児科」に掲載しました。

今回は(想定した)症例を提示し、その情報をもとにWISC検査結果 と併せて子どもの困難さを理解し、良さの観点から支援プログラムを 実際につくるロールプレイを計画しています。参加条件は「『WISCを 体験しよう』ワークショップが目指すもの」《外来小児科 第19巻 第1号 (2016)》をお読みいただくこととします。このワークショップで得ら れる連携・協働の体験は、すべての地域での子ども支援に役立つものと 信じます。ご参加をお待ちいたします。

WSのタイプ	研修型	対象
定員	40名	
1施設からの定員	1名	 制限なし
当日参加	不可	טאיאלויוו
参加費	2,000円	

WS2-6

保育士はもっと積極的に保護者をサポートしよう!皿 多職種による保護者支援の実践に向けて

リーダ-

宇野久美子(大分こども病院)

サブリーダー

吉井友美(大分こども病院)

永野和子(杉野クリニック)

前回のWSでは、育児の悩みをもつ保護者と、子どもに対して無関心 な様子の保護者にどのように関わり、声掛けをしていくのかについて、 その支援方法を議論した。その結果、保育士は子どもと保護者の互い の気持ちを理解し、代弁者となって仲介役になることが、支援方法とし て得られた。保護者の育児に対する悩みは様々で、中には病気そのも のに対して大きな不安を抱えていることがある。保育士の専門性だけ でなく多職種と協働することで、更に一人一人に寄り添った支援ができ ると考えられる。そこで今回は、互いの専門性を活かしながら保護者支 援をしていく方法や対応について実際の事例を用いて検討する。また、 他職種の専門性に気づき、それを活かした連携をするにはどうすれば いいのかを知る。到達目標は、各施設において多職種で保護者一人ひ とりのニーズを満たすためにすぐに実行可能な支援方法を見つけるこ とである。

※同一施設から2名まで参加可能です。但し、「保育士と保育士」「看護師と看護師」のように同一職種ではなく、「保育士と受付」「看護師と保育士」のように、別の職種が1名づつ参加 されることを希望します。

WSのタイプ	問題解決型	対象
定員	30名	
1施設からの定員	2名(別職種)まで	制限なし
当日参加	空きがあれば可	٥٥٠٥١١١١٦
参加費	無料	

MS2-7

離乳食を科学的に語ろう

リーダー

岡田清春(おかだ小児科医院)

サブリーダー

土田晋也(つちだ小児科)、西村 龍夫(にしむら小児科)

今西康次(南部徳洲会病院小児科)

離乳食指導は厚労省が策定している離乳ガイドに基づき、日本全国で行われ ている。

WHOが提唱する補完食とはいささか趣を異にする。例えば、母乳で足り なくなる鉄分を補う必要があるにも関わらず、その必要性に対する記載が 殆ど無く、鉄分の多い食材について詳細に書かれていない。また、母乳の 成分はカロリー比で半分が脂質であるにもかかわらず、脂肪の少ない食事 を推薦している。「アレルギーの心配のないおかゆから始める」という記述 が、母親の不安を高め、卵等の摂取を遅らせ、食物アレルギーをより起こり やすくさせているのではないかという意見もある。あるいは、乳児期はアミ ラーゼが低く、炭水化物が十分消化されないのではないかという意見もある。

いま日本で広く行われている離乳食指導に科学的根拠があるのか、WHOの 提唱する補完食とどこが違うのか、さらに重篤な食物アレルギーを起こさず、子 どもの成長に必要かつ不可欠な離乳食はどのようなものであるか問題提起 したい。

事前に以下の資料をダウンロードし目を通しておいてください。

「厚労省離乳食の進め方」(http://www.mhlw.go.jp/shingi/2007/03/dl/s0314-17c.pdf) 「WHO補完食」(http://apps.who.int/iris/bitstream/10665/66389/2/WHO_NHD_00.1_jpn.pdf)

WSのタイプ	問題解決型	対象
定員	30名	
1施設からの定員	3名	制限なし
当日参加	空きがあれば可	が表し
参加費	無料	

MS2-3

自分らしく生きるために 「アドラー心理学」を学んでみませんか?

リーダー

吉田 均(よしだ小児科クリニック)

サブリーダー

武藤一彦(むとう小児科医院)

充実した人生を歩んでいらっしゃいますか?もしかして「言いたい ことが言えない」「他人の目が気になる」「どうせ私なんて劣等感の かたまり…」こんな暗い気持ちになったことはありませんか?「嫌われ たくないので、いい人を演じている」ということもありませんか?同僚や 友人、夫婦、親子などの人間関係はうまくいっていますか?あるいは、 お子さんの無気力や不登校、引きこもりなどで悩んでいませんか? そして、人生の意味について考えたことがありますか?

アルフレッド・アドラー(1870~1937年)は「人は変われる」「劣等 感なんて主観的な思い込み」「トラウマなど存在しない」「承認欲求を 否定する」「叱ってはいけない、ほめてもいけない」「子どもを尊敬 せよ」等々、常識を覆すような哲学や教育論を唱えています。WSでは ベストセラー「嫌われる勇気」の著者岸見一郎さんをお迎えし、私たち を苦しめる劣等感への向き合い方や複雑な対人関係のしがらみから 解放される方法を学び、人生や幸福の考え方、そして悩める子との 接し方を根本から見直してみたいと思います。なお、WSまでにアド ラー心理学の基礎をご理解いただけるようメールで参考資料を送付し 事前勉強を行います。

WSのタイプ	問題解決型	対象
定員	40名	
1施設からの定員	制限なし	制限なし
当日参加	空きがあれば可	し の対抗性
参加費	1,000円	

WS2_9

「えっ、薬を飲まない!?さぁ困った・・どんなアドバイスをしよう?」 ~事例からみんなで考え演じてみよう!~

リーダー

齋藤栄二(あおば薬局)

サブリーダー

三浦哲也(アップル薬局)

仙敷義和(信栄調剤薬局)

上荷裕広(すずらん調剤薬局)

「くすりが嫌いみたいで、全く飲んでくれないんです・何か良い方法は ありますか?」小児科外来においては、よく遭遇する質問ですが皆さんは 困っていませんか?薬と混ぜる食品の紹介だけでは解決に至らないこと も多いため、真の解決に向けてどのように保護者から情報を収集し、どの ようにアセスメントを行い、どのようなアドバイスを提供すればよいのか、 今回は話し合いだけではなくロールプレイングを通じて考えてみたい。

事前調査では、服薬を拒んだ患児へのアドバイスで解決できなかった 症例だけではなく、参加者が保護者へのアドバイスに窮した事例を集め たい。そこから模擬症例を作成し、解決に向けて、まずは小グルー での話し合いを行い、ロールプレイングにて発表していただく。ロール プレイングによって自らが新たな視点から気づくことや、他グループの 参加者にも気づきを与えられることを目指したWSを行いたい。

WSのタイプ	問題解決型	対象
定員	40名	
1施設からの定員	2名	制限なし
当日参加	空きがあれば可	U AVXIIIIII
参加費	無料	

WS2-11

明日からもっとうまくなる小児科での禁煙支援

リーダー

牟田広実(いいづかこども診療所)

サブリーダー

野田 隆(のだ小児科医院)

本ワークショップはタバコ問題検討会が主催し、2008年から継続し て開催しています。小児科外来で効果的な禁煙支援の声かけができる ようになることを目標とし、禁煙支援の基礎知識のレクチャーと模擬患 者さんに対する禁煙支援のシミュレーションで構成しています。まず、 禁煙支援の経験豊かな講師陣による禁煙支援の基礎知識のレクチャー から始まります。続いて行われるシミュレーションでは、小児科での禁 煙支援よりリアルに体験していただけるよう、元喫煙者で現在は禁煙支 援を継続的に行っている方々に模擬患者さんをお願いしています。ま た、禁煙支援の経験豊かなサブリーダーがファシリテーターとして、効 果的な学習を支援します。参加していただいた方からは、「完成度の高 いワークで、喫煙者の気持ちを理解しながら禁煙を勧めるノウハウを 着実に身につけることができた。」などの嬉しい声を頂いています。禁 煙支援は初めてという方から、もっとブラッシュアップしたいという方ま で、幅広い参加をお待ちしております。

WSのタイプ	研修型	対象
定員	30名	
1施設からの定員	制限なし	制限なし
当日参加	空きがあれば可	٠ کەرىجاراتا
参加費	無料	

WS2-10

質的研究方法をみんなで検討しよう! ~これからはじめる人も、すでにはじめた人も~

リーダー

齊藤 匡(多古中央病院)

サブリーダー

湧水理恵(筑波大学大学院人間総合科学研究科)

西垣佳織(東京医療保健大学医療保健学部)

黒木春郎(外房こどもクリニック)

質的研究方法検討会が主催するWSです。質的研究に関する書籍や 文献は増えてきましたが、いざ自分で研究を始めようとすると、データ の収集や分析など一人では困難なことが多くてなかなか前に進みませ ん。昨年のWSでは「現場の声を形にしよう!」というテーマで、日常で感 じている疑問を持ち寄ってリサーチ・クエスチョンの形にし、研究計画を 立てる作業を行いました。今年のWSでは、初参加の方は昨年と同様、 研究計画を立てることを到達目標とします。昨年参加した方や、すでに 研究計画(構想でも可)をお持ちの方、あるいは実際に研究を開始して -タをお持ちの方は、さらに研究を進めるために、具体的なデータ収 集方法を決定したり、実際のデータを持参して分析方法を学ぶことを 到達目標とします。現在、大学で小児看護の教員をしている質的研究の 経験豊富なファシリテーターを交えて、楽しくディスカッションする場に したいと思います。最終的な目標は、一人でも多くの方が学会発表や 論文完成にまでたどり着くことで、WS終了後も研究に関する相談がで きるようなネットワーク作りを目指します。

WSのタイプ	研修型	対象
定員	20名	
1施設からの定員	制限なし	 制限なし
当日参加	空きがあれば可	ال من كيارات
参加費	500円	

WS2-12

「乳幼児の本当の遊びとは」~一緒に考えましょう!

蜂谷明子(蜂谷小児科)

サブリーダー

三田智子(川野辺小児科)

長谷加代子(まつだこどもクリニック)

遊びは子どもの栄養です。「子どもにとっての遊び」を多職種で考えて行きたい と思います。

それぞれの月齢や年齢で獲得する能力と遊び込みの関係を考え、遊びの持つ 意義を考えて行きます。近年、我が子と遊ぶことが苦手なお母さんや遊びを発展 させてあげられない保育士も見られます。そのような保護者や保育士に、遊びを 紹介してどのような意味を持っているかをレクチャー・支援できるスキルを共有・獲 得することを目的とします。例えば「だるまさんがころんだ」はまさに「体を制止す る』という療育での作業療法です。「おしくらまんじゅう」は自分の力の入れ具合を 加減するというボディコントロールの作業療法に他なりません。さらに体と体が触 れ合う、タッチケアであり、体の快・不快を体感する性教育に繋がって行くことにな ります。

多職種が集まり、遊びの紹介をし合い、遊びの意味を考えて行きたいと思いま す。「乳幼児の遊び」の深い意味を認識し合い、子育て支援ができるために、ひとつ の知識と技量になることを目標に、一緒に楽しく学びましょう!

参加制限に関係なく、メディカルスタッフの方々中心に多くのご参加をお願いしたいと考えて

	WSのタイプ	研修型	対象
ſ	定員	40名	
	1施設からの定員	制限なし	制限なし
	当日参加	可	٥٠٨عانات
	参加費	無料	

WS2-13

予防接種アプリを評価する

リーダー

岡藤 隆夫(岡藤小児科医院)

サブリーダー

多田真里奈(永井小児科医院)

船木祐花(岡藤小児科医院)

スマートフォンの普及に伴い、予防接種についても多くのアプリが利 用できるようになりました。しかし、その利便性や情報の正確性などは アプリによって差があります。そこで今回、保護者へ事前アンケートを 行うとともに、実際に使用してアプリの有用性を評価します。そして日常診療においてアプリを用いることで、受付事務の負担や過誤接種の 軽減に役立つかを検討します。

WSのタイプ	問題解決型	対象
定員	40名	
1施設からの定員	2名	医師以外
当日参加	可	
参加費	無料	



WS£-1

小児救急初療コース (Triage & Actionコース:小児T&Aコース)

リーダー

茂木恒俊(京都大学医療教育推進センター)

サブリーダー

牟田広実(いいづかこども診療所)

古家信介(豊中病院小児科)

このワークショップでは、こどもの全身状態やバイタルサインから緊 急性や重症度が高い患児をトリアージし、初期対応としてはじめの数分 間で何を行うべきか考えていただきます。また同時に、初期対応を施し ながら要点をとらえたプレゼンテーションで医師へ相談できる能力を 身につけることを目標としております。コースで扱う内容は、トリアージ と有熱性けいれんのマネージメントを中心に行います。それぞれ15分 程度の講義とその講義内容に合わせたロールプレイ(医師役または看 護師役)を実際に行って頂きます。ロールプレイは6~7人の小グルー プ学習の形式で行い、ひとりひとりのレベルや労働環境に合わせ、無理 なく楽しみながら学べるようにしておりますのでご安心ください。今回 のワークショップでは最終的には、知識として知っているだけではなく、 現場で知識を使って動けることを目指しています。なるべく多くの方に 参加していただきたいということもあり、当ワークショップに初めて参 加される方を優先的に登録させていただく予定です。また同一施設か らの参加者も3名までとさせて頂く予定です。

WSのタイプ	研修型	対象
定員	40名	
1施設からの定員	3名	 制限なし
当日参加	空きがあれば可	ا کامکردارت
参加費	無料	

W&£-£

外来での事故防止を進めよう ・事故防止対策の企画・運営を学んでみませんか

ローダー

及川郁子(東京家政大学)

川口千鶴(順天堂大学保健看護学部)

これまで2年にわたって「外来での事故防止を学ぼう」というテーマ で、外来で起こる事故予防について参加者と検討してきました。今回 はそれを発展させ、参加者がワークショップで学んだことを職場でリー ダー的役割を取りながら、事故防止対策を具体的に実践できる企画や 運営方法について学ぶワークショップです。

方法としては、参加者の職場における事故防止対策や予防上の問題 などについて事前調査を行います。当日は、事前調査を踏まえて事故 防止対策の企画・運営方法の計画について話し合いを行います。また、 これまで使用したKYT教材などを活用し、事故防止対策の方法を具体 的にイメージできるようにします。教材の活用方法、実施時期、評価方 法などを職場の現状に合わせて考え、計画書を作成してみませんか。 外来の事故防止対策をどのように計画したらよいか悩んでいる方、リー ダーとなって進めたい方、是非ご参加ください。

WSのタイプ	研修型	対象
定員	40名	
1施設からの定員	1名	看護師·看護助手·
当日参加	空きがあれば可	保育士·事務
参加費	無料	

WS3-2

服薬指導への取り組み16 「子どものお薬手帳を活用してみよう」

リーダー

髙橋 肇(はじめこどもクリニック)

サブリーダー

杉本香織(シスター薬局)

高橋めぐみ(はじめこどもクリニック)

服薬指導への取り組みその16「子どものお薬手帳を活用してみよう」 災害に際して、お薬手帳の情報(必要な薬、副作用情報など)はとて も大切です。日常診療でも、他科や他院、救急病院での治療経過や併 用薬、副作用のチェックのために必須の情報が含まれています。しかし、 お薬手帳を持ってこない、お薬手帳に薬局で出すシールを貼っていな い、病院での診察の時や薬局で出さない、病院や医院ごとにお薬手帳 を別にしているなど困ることがしばしばあります。今回はお薬手帳のあ り方を含めて問題点を検討し、母親にお薬手帳の大切さを理解しても らうための工夫、持参率を高めるための取り組み、服薬指導(服薬アドヒ アランスの向上)につながる活用法など検討します。事前アンケートを 行い、問題点を取り上げますのでよろしくお願い致します。東日本大震 災から6年が経ちました。災害への備えは忘れられがちですが、いざと いう時に役に立つ情報であるお薬手帳をもっと活用するためのWSを 目指します。

WSのタイプ	問題解決型	対象
定員	40名	
1施設からの定員	2名	 制限なし
当日参加	可	
参加費	無料	

WS£-4

地域医療の中での小児科医の役割

リーダー

松浦伸郎(松浦医院)

サブリーダ-

川島 崇(川島内科クリニック)

及川 馨(及川医院)

高齢化社会を迎え地域の子供たちが減少し老人の増加が顕著である。このため 小児科開業医も成人や高齢者を見ざるを得ない状況が生じていると思われる。

このような状況の中でどのように小児科・内科診療をやっていくか、将来の研鑽 方法などについて悩む場合も少なくない。地域の小児人口が減少し高齢者が増 えると本来の小児科診療が失われていくことも心配され、小児科の主体性をどの ように維持していくかも考えさせられる。また診療の内容については地域の特異 性に大きく依存する。小児科は都市部のみならずあらゆる地域で必要な科である が、採算が取りうる状態でないと継続はむつかしい。一方で夜間の対応や予防接 種、園医・校医などでは内科医との連携も必要となってくる。ここではかかりつけ医 としての地域の小児科医の役割について考えてみたい。到達目標は1. 社会の高 齢化に伴い地域の開業小児科医が抱える将来の不安や現状の問題点を明らかに する。2. 小児科医が減少しても母子保健や学校保健にかかわる医師会事業の縮 小は考えにくく、小児科医と他科特に内科との連携において小児科医の果たす役 割を考える。3. かかりつけ医、プライマリケア医、総合診療医、総合内科専門医、 地域総合小児科医等や新専門医制度が社会にどう対応していくか考える。

WSのタイプ	問題解決型	対象
定員	30名	
1施設からの定員	制限なし	医師·医学部生·
当日参加	空きがあれば可	研修医
参加費	無料	

W88-5

赤ちゃんの食物アレルギーが心配な保護者への 離乳食支援

リーダー

土屋千枝(川井小児科クリニック)

サブリーダー

仲 佳代(認定NPO法人アレルギー支援ネットワーク) 岡田恵利(認定NPO法人アレルギー支援ネットワーク)

食物アレルギーに対する食事指導は大きく変わりました。かつては 「食物の除去」が中心でしたが、現在は「離乳食は遅らせないように」 「たとえ食物アレルギーがあっても症状が出ない範囲で食べさせるこ と」が栄養指導の中心となっています。しかし、「離乳期に卵を食べると 卵アレルギーになるのでは?」という誤解や「卵アレルギーが怖くて卵 は食べさせていません」というお母さんの不安の声をよく耳にします。 「離乳食は何から、どのように始めたら良いのでしょうか?」などの相談 を受けます。外来でこうした食物アレルギーが心配な保護者に適切な 離乳食の進め方の助言が出来る事を目標とし、食物アレルギーのある 乳幼児に対して栄養指導の経験豊富な管理栄養士さんと一緒に学びま す。

また、昆布や鰹節からとった手作りスープや離乳期の卵の調理など を紹介し、味の違いを実感し、離乳食を食べてくれないという悩みにも 助言が出来るようになりたいと考えています。

WSのタイプ	研修型	対象
定員	20名	
1施設からの定員	1名	看護師·看護助手·
当日参加	不可	保育士·栄養士
参加費	500円	

W88-6

小児科外来における未成年への 禁煙支援をどうするか?

リーダー

野田隆(のだ小児科医院)

サブリーダー

田草雄一(ぽよぽよクリニック)

高橋裕子(京都大学医学部健康情報学)

未成年の喫煙率が減少傾向にあることは喜ばしいが、依然として喫 煙未成年は存在する。

未成年喫煙は健康被害が大きくなることは医学的に検証されてい る。さらに未成年の行動の変化の引き金や受動喫煙のもとにもなりう ることから、未成年喫煙の防止は従来から重要課題と認識されてきた。 喫煙防止教育の重要性は自明であるが、喫煙する未成年への禁煙支援 も等しく重要である。

平成28年4月の保険改正で35歳未満の喫煙者の禁煙治療にも健康 保険が適用されることとなったが、教育現場での停学や始末書、謹慎処 分など指導はなされても、医学的な支援の普及には至っていない。

これに対して未成年の喫煙の実態・各地での未成年への禁煙支援の 実例報告を通して、問診項目の共通化とニコチンパッチの使用法や喫 煙欲求回避法、保護者への対応等について参加者間で共有することを 趣旨とする。

WSのタイプ	問題解決型	対象
定員	20名	
1施設からの定員	制限なし	制限なし
当日参加	空きがあれば可	ال من بيارات
参加費	無料	

WS£-7

前向き子育て十か条を考えよう

ローダー

藤田一郎(福岡女学院大学人間関係学部子ども発達学科)

橋野かの子(橋野こどもクリニック)

小児科外来では心身症や気になる子どもの行動で保護者から相談さ れることがあります。子育ての悩みについて話し合うことが役立つので すが、「前向き子育て十か条」を準備しておくと自信を持って対応でき ます。基本的な考え方と具体的な言葉を添えたリーフレットを用意して おけば、時間がなくても保護者に渡してアドバイスできます。

「前向き子育てプログラム・トリプルP」や「子育てハッピーアドバイス (明橋大二著)」、参加者の経験事例を参考にして、幼児、小学生、中学 生向けの3グループに分かれて話し合い、前向き子育て十か条を考え ます。最後に3つの十か条を共有して全員で意見交換をします。

好ましい子育て方法は親子の状況によって十人十色かと思います が、多くの親が共感できる前向きな言葉を考えましょう。話し合いの参 考となるような子育て相談に関する経験事例や、あなたの子育て十か 条があれば事前にお知らせください。

WSのタイプ	問題解決型	対象 対象
定員	40名	
1施設からの定員	3名	
当日参加	空きがあれば可	
参加費	無料	

始めてみよう、小児漢方! アレルギ 疾患に対する漢方薬

ローダー

森 蘭子(森こどもクリニック)

サブリーダー

坂崎弘美(さかざきこどもクリニック)

木全かおり(かわしまファミリークリニック)

木許 泉(広瀬クリニック)

漢方薬を日常診療に取り入れている、またはこれから取り入れようと 考えている医師を対象にしたWSです。これまで、上気道炎・胃腸炎、虚 弱体質、発達障害をテーマに開催してきました。今回はアレルギー疾患 を取り上げます。

現在、アレルギー疾患はそれぞれのガイドラインが確立され、標準治 療が広く浸透しています。しかし、ガイドライン通りに診療しても、患児 のQOLという面で満足が得られないケースも有ります。このWSでは、 気管支喘息、アレルギー性鼻炎、アトピー性皮膚炎に対し、西洋医学的 治療を補完する手段としての漢方薬の使い方を修得することを目的と します。実際の診療において、どのようなケースが漢方薬の適応になる のか、その際の処方選択の考え方、実際の服薬指導について、症例をも とにディスカッションしながら学びます。漢方薬を上手に取り入れて、患 児のQOL向上を目標に、ワンランク上の小児アレルギー診療を目指し ましょう。

WSのタイプ	研修型	対象
定員	40名	
1施設からの定員	2名	医師
当日参加	空きがあれば可	
参加費	500円	

食物アレルギーに関する新しいエビデンス

リーダー

伊藤純子(虎の門病院 小児科)

サブリーダー

加地はるみ(加地医院)

冨本和彦(とみもと小児科クリニック)

松本 勉(まつもと小児・アレルギークリニック)

食物アレルギーへの対処法が大きく変わってきました。原因となり うるアレルゲンを厳格に除去するのではなく、むしろ早期から積極的に 経口摂取した方が良いということになっています。また、経皮感作の 重要性が指摘され、スキンケアが強調されるようになりました。どうして このような、以前とは違う治療方針がとられるようになったのでしょうか? また、どのような方法で行うとどれほどの効果が見られるのでしょうか? 副作用などの問題は起きないのでしょうか?

このような疑問に答えを得る一つの方法は、診療方針を変える根拠 になった文献(エビデンス)を実際に読んでみることです。しかも、結論だ けでなく、対象や方法、分析のやり方などについて注意しながら読んでみ る「批判的吟味」をすると、「実はこういうことだったのか」と腑に落ちる ことが多いのです。英語の論文抄読は一人ではうまく進みません。 ポイントを押さえながらみんなで読んでみる「抄読会」を一度経験して みてください。今まで見えなかったものが見えてきて、明日からの診療に きっと役に立つでしょう。

WSのタイプ	研修型	対象
定員	30名	
1施設からの定員	制限なし	 制限なし
当日参加	空きがあれば可	し か対抗性
参加費	無料	

みんなが笑顔になれる母乳育児支援 ~それぞれの母子のもつ力を活かして支援する小児科外来にそ

リーダー

江田明日香 (医師)(かるがも藤沢クリニック)

サブリーダー (IBCLC:国際認定ラクテーション・コンサルタントの略称)

伊藤敦美(助産師 IBCLC)(ひだまりクリニック)

梶本宏枝(助産師 IBCLC)(かじもとこどもクリニック)

栗原智郁枝・中川志穂(助産師 IBCLC)(かるがも藤沢クリニック)

古賀浩子(助産師 IBCLC)(古賀小児科)

:浦久子(助産師 IBCLC)(緑の森こどもクリニック)

吉澤志麻(看護師 IBCLC)(きくざとファミリークリニック)

小児科外来では、母親から様々な相談が寄せられます。「赤ちゃんの体 重が増えない」、「適切な授乳方法がわからない」、「母乳や人工乳が足り ていないのかも」、「乳首が痛い」など、授乳に関する相談が多く見受けられ ます。

このWSでは、母親自身が自信をもって育児ができるように、専門職 だけでなく小児科外来のスタッフ全員がそれぞれに自信をもって対応 するための母乳育児支援を学びます。

子どもの発育や発達を見守りながら母乳育児支援ができるのは、小児科 外来の強みです。より多くの母子が安全に長く母乳育児(混合栄養も 含めて)を楽しむためには、かかりつけ小児科からの適切な支援がとても 重要です。

当日は最新の科学的情報を基礎にして、カウンセリング・スキルを用いた 母乳育児支援を学び、ロールプレイでその支援方法を体験します。お母 さんと赤ちゃん、そして外来スタッフも、みんなが笑顔になれるよう、ともに 学びましょう。

WSのタイプ	研修型	対象
定員	30名	
1施設からの定員	制限なし	制限なし
当日参加	空きがあれば可	ال من كيارات
参加費	無料	

WS:-11

クリニック院長の幸せなリタイアを目指して

-ダー

佐藤順一(上大岡こどもクリニック)

サブリーダー

矢嶋茂裕(矢嶋小児科小児循環器クリニック)

原 朋邦(はらこどもクリニック)

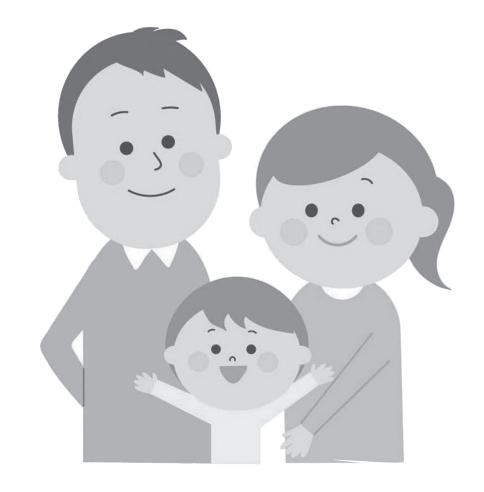
クリニック院長のリタイアはいつの日か必ず訪れる。体の続く限りで きるだけ長くと考える院長がいる一方、人生の残りの時間をどのように 歩むかを考える中から、ある時期に診療の主体を他の医師に委ねよう とする院長もいる。

またクリニックを閉じ、勤務医やこれまでとは異なる医療の道を選択 することもありうる。

一方リタイアは院長だけの問題ではなく、家族・スタッフ・患者さんや 地域の医療体制などに大きな影響を与えることであり、その決断には 時間をかけた慎重さと周囲の理解が必要となろう。

今回のWSでは参加者のリタイアの構想や経験などを語っていただ き、各自の今後の選択肢のヒントとなることを目指したい。また継承や 委譲などの方法や問題点についても実例を提示して整理していきたい。

WSのタイプ	問題解決型	対象
定員	40名	
1施設からの定員	制限なし	医師・
当日参加	空きがあれば可	医師の配偶者
参加費	無料	



般演題募集のご案内 8.

申込期間:2017年4月17日(月)~5月26日(金)

一般演題の発表形式は原則として口演(PC 形式)とポスター発表の両方といたします。口演のすべてを聞くことは できないため、ポスターを展示して口演内容をいつでも見ることができるようにしています。ただし、口演時間枠には 限りがありますので、応募演題が多数の場合にはポスター発表のみをお願いする場合があります。また、ポスター発表 のみを希望される場合には応募時にお申し出ください。日常診療における取組みや現在進行中の研究に関する演題も

ご発表いただいた一般演題の中から、会長・実行委員で構成する選考委員会で審査し、優秀演題には「リエゾン賞」と 「最優秀賞」を選出し、2日(土)の懇親会で表彰いたします。発表された方はもちろんですが、多くの方のご出席をお 願いいたします。

■発表形式

1. 口演発表

- 口演は発表6分、質疑3分の予定です。
- 口演に使用する機器はPCプロジェクター1基とさせていただきます。
- 事務局が用意するパソコンOSはWindows 版、発表用ソフトはマイクロソフト社製パワーポイント(PPT) 2013-2016です。動画を使用する場合はWindows Media Player(Ver.10 以上)で再生されるファ イルをご使用になり、ご自身のノートパソコンをお持ちください。なお、音声についてもご利用いただけます ので、当日PC受付にお申し出ください。
- Macintoshを使用される場合にはご自身のパソコンとACアダプターをお持ち D-SUB15ピン になり、D-SUB15ピンの端子で接続できるようご準備ください。
- ご発表のデータは相互のウイルス感染を防ぐため、できる限りCD-R(CD-R/ W、DVDは不可)でお持ちください。USBメモリーでお持ちになる場合には、セ キュリティ管理に十分な配慮をお願いいたします。いずれの場合も念のために バックアップデータをご用意ください。
- 口演日時:9月2日(土) 15:00~18:00 (WSリーダー等をされる方は予定日時などを明記してください)

色覚異常者のためのバリアフリープレゼンテーションについて

- 学会参加者の中には色覚に異常を持った方がいらっしゃいます。スライド作成の時にご留意ください。具体 的には、分かりやすい文字と背景の組み合わせを選び、特に黒バックに濃い赤字はお避けください。色は3色 程度までに抑えてください。
- グラフは塗りつぶしパターンを変えるなど白黒印刷でも判断できる図表にしてください。

2. ポスター発表

■展示サイズ

掲示には縦210cm、横90cmのパネルを用意いたします。

上部縦20cm、横70cmには演題名、発表者名、所属を掲示してください。 発表内容は縦180cm、横90cm内に、要旨、目的、結果、考察、結語の順で収 まるように掲示してください。図、表を含めスペース:A3用紙10枚程度にお願 いいたします。演題番号表示とプッシュピンは事務局で用意いたします。

■ポスター展示

付:9月1日(金) 16:00~19:00

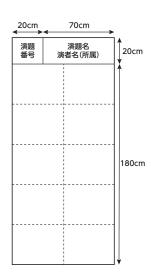
• 展示場所: 三重県総合文化センター 文化会館(文化棟)2F 第2ギャラリー

• 展示期間: 9月2日(土) $9:00 \sim 20:30$

> $9:00 \sim 14:00$ 9月3日(日)

去:9月3日(日) 14:00~15:00

※15:00以降になっても撤去されない場合は事務局にて撤去させていただき ます。



■演題発表時における利益相反(COI)の開示について

第27回年次集会では平成23年2月に日本医学会が公表した「医学研究のCOI マネージメントに関するガ イドライン」に則して、口演およびポスター発表における演題登録の際、利益相反の開示すべき項目の有無に ついて申告いただくことになりました。ご理解の上、よろしくお願いいたします。

第27回日本外来小児科学会年次集会 COI開示

筆頭演者氏名:〇〇〇〇

演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある企業などとして、

⑥委託研究·共同研究費:○○製薬

⑦奨学寄付金:○○製薬

⑧寄付講座所属:あり ○○製薬

- ↑開示すべき内容がある項目のみ記載
- ①顧問 ②株保有・利益 ③特許使用料 ④講演料 ⑤原稿料 ⑥委託研究・共同研究費
- ⑦奨学寄付金 ⑧寄付講座所属 ⑨贈答品などの報酬

■利益相反の開示すべき項目(日本小児科学会に準ずる)

- 産学連携活動に係る受け入れ額が、1企業あたり年間200万円以上(所属機関からの間接経費が差し引かれ る前の金額)の場合
- ・ コンサルト、指導、講演、給与としての個人収益が、1企業あたり年間100万円以上(税金や源泉徴収額を 引く前の金額)の場合
- 産学連携活動に係る個人収益(公開・未公開を問わず、当該企業の株式等の出資・取得・保有及び売却・譲渡、 ストックオプションの権利譲受、もしくは、役員報酬、特許権使用料等)が1企業あたり年間100万円以上あっ た場合(但し、投資信託、もしくは、当該個人によって管理・制御できない多角的なファンドにおいて資金運用 される場合を除く)
- 上記のいずれかに該当する企業に一親等の親族が現在勤務している場合
- ※個人収益の場合は、前年1月1日から12月31日まで、ただし、寄付金や企業からの受託等、産学連携活動に 係る研究の場合は、前年4月1日から本年3月30日までの期間でも可。

■申込方法

- 演者または共同演者のうち少なくとも1名は日本外来小児科学会の会員であることが必要です。
- 一般演題は原則として年次集会公式ウェブサイト

(http://web.apollon.nta.co.jp/sagpj2017/からのオンライン登録によって受付いたします。

■採否等の連絡

- 演題の採否、発表形式、発表日時等につきましては実行委員会にご一任ください。
- なお採否に関する実行委員会へのお問い合わせはご遠慮ください。
- 採否につきましては6月末までにご連絡いたします。

■個人情報保護等に関する発表上の注意

本年次集会での発表にあたっては適切な倫理的配慮を行ってください。特に個人情報保護の観点から、 その発表内容には患者やその他の関係者が特定出来る情報は表示しないようにお願いいたします。 なお、患者の顔写真等を使用する場合は本人もしくは保護者の同意が得られているものとします。

9. パネル展示募集のご案内

募集期間:2017年4月17日(月)~5月26日(金)

1. 院内報ネットワーク他の院内報(誌)の展示

各医療機関で発行している院内報をそのまま展示してください。

2. 医療保育ネットワーク等の展示

外来診療の場での、保育士他のみなさんのご活躍をご紹介ください。

■発表形式

- 1. ポスター、写真、印刷物は210cm×90cmのパネルに貼付してください。
- 2. 本や診療の小道具、おもちゃなどの展示はパネル前に幅180×奥行45cm×高さ70cmの机を設置することで 可能となります。但し、使用幅はパネル幅と同様幅90cmで、1本の机を2者で共有使用とさせていただきます。
- 3. 展示番号とプッシュピンは事務局で用意いたします。

■展示場所と時間

展示場所:三重県総合文化センター 文化会館(文化棟)2F

付:9月1日(金)16:00~19:00 展示期間:9月2日(土) 9:00~20:30 9月3日(日) 9:00~14:00

■応募方法

パネル展示募集期間:2017年4月17日(月)~5月12日(金)

- ◎パネル展示は年次集会公式ウェブサイト(http://web.apollon.nta.co.jp/sagpj2017/)から申込書を ダウンロードして、Eメール(27th_sagpj@nta.co.jp)またはFAX(06-6342-0214)までお申し込み
- ◎演者または共同演者のうち少なくとも] 名は日本外来小児科学会の会員であることが必要です。
- ◎ご発表の内容が企業の協力を得ていたり、共同研究に該当する場合には、申し込みの際に必ずお申し出 ください。

第27回日本外来小児科学会年次集会運営事務局

(株)日本旅行 西日本MICE営業部内

〒530-0001 大阪市北区梅田1-11-4 大阪駅前第4ビル5階

担当:下村·坂巻

FAX: 06-6342-0214

■採否等の連絡

- パネル展示の採否については運営委員会にご一任ください。
- 応募数が規定数を超えたときはお断りすることもあります。
- 展示物の搬入・搬出の時間・方法につきましては、展示決定通知の際にご案内いたします。7月7日(金)までに ご案内する予定です。
- 展示期間中の展示物の損傷や紛失などに関しましては実行委員会では責任を負いかねます。展示期間中の展 示物の保管はが必要な場合は、各自でお願いいたします。

10. 患者家族の会・支援者の会展示募集のご案内

募集期間:2017年4月17日(月)~5月26日(金)

■展示形式、参加に際してのお願いなど

- 1. ポスター、写真、印刷物などは、実行委員会で用意する縦210cm×横180cmのパネルに貼付してくだ
- 2. 会の紹介パンフ・書籍・カンパグッズなどは、パネル展示前の机に1卓用意しますので、ご利用ください。
- 3. カンパ及び署名集めは、会の各ブースでお願いいたします。資料配布などは、実行委員会に確認の上、 通行等の妨げにならない範囲でお願いいたします。

■展示日時など

展示物搬入:9月1日(金)16:00~19:00

展 示 場 所:三重県総合文化センター 文化会館(文化棟)1F 中ホール ホワイエ

展示期間:9月2日(土) 9:00~17:00

9月3日(日) 9:00~14:00

出:9月3日(日) 14:00~15:00

※9月3日(日)15:00以降になっても撤去されない場合は、事務局で処分いたします。

■応募方法

◎年次集会公式ウェブサイト(http://web.apollon.nta.co.jp/sagpj2017/)から申込書をダウンロード して、Eメール(27th sagpi@nta.co.jp)またはFAX(06-6342-0214)までお申し込みください。

第27回日本外来小児科学会年次集会 運営事務局

(株)日本旅行 西日本MICE営業部内

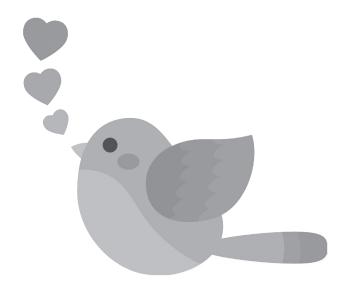
〒530-0001 大阪市北区梅田1-11-4 大阪駅前第4ビル5階

担当:下村·坂巻

FAX: 06-6342-0214

■採否などの連絡

- ・応募が規定数を超えた場合は、お断りすることがあります。
- ・採否は、準備委員会にご一任ください。慎重に検討の上平成27年6月23日までに採否と割当をご連絡いた します。
- ※展示期間中の展示物の損傷や紛失などに関して、事務局で責任を負いかねます。展示物の保管が必要な場 合は各自でお願いいたします。



11. ハンズオンセミナー (HS) のご案内

事前参加登録期間:2017年4月16日(日)~5月26日(金)

■申込み方法

参加登録は、年次集会公式ホームページ(http://web.apollon.nta.co.jp/sagpj2017/)からのオンライン登録に よって受付いたします。

参加資格は特にありませんが、ハンズオンセミナー1(吸入指導)は、完全入れ替え制でHS1-AとHS1-Bは、同一の 内容です。

※WSと時間が重なる場合がありますので、ご注意ください。

●ハンズオンセミナー(HS) 1A/1B

『吸入指導』

見て、聞いて、触って、考えて、納得の吸入指導!

座長(講師): 青野珠可((株)杏林堂薬局 ハーバル薬局)

日時:9月2日(土)15:00~18:00 定員: 1A(15:00~16:30)40名 / 1B(16:30~18:00)40名 計80名(入れ替え制)

吸入ステロイドは喘息治療において重要な役割を果たしており、吸入手技の成否が効果を左右すると言っても過言ではありません。 「コントロールがつかない」「増量したのに全く改善しない」など、正しい吸入ができていないと期待した効果が得られないこともあります。 そこで当セミナーでは、小児アレルギーエデュケーター薬剤師による正しい吸入手技指導や支援について学んでいただきます。 p-MDIではスペーサーの使用が推奨されており、患児に適したスペーサーを選択することが大切であり、マスクタイプとマウスピース タイプの特徴や子どもの発達に応じた選び方のポイントを紹介します。

またDPI製剤では、ある程度の吸入力が必要とるため、練習用トレーナーが発する音を体験することから、テキストには記載されて いない音の長さや強さを聴いて、耳で覚えて学んでいただきます。

さらに間違った吸入手技の実演から、問題点とその発生理由について皆さんと一緒に考え、保護者と患児を納得させるための指導 方法を身につけていただけます。

見て、聞いて、触って、考える体験型のハンズオンセミナーは、明日からの診療にすぐに役立つセミナーですので、ぜひご参加ください!

※当セミナーは15時からの部と16時30分からの部で、2部制となっております。どちらの時間帯になるかは、運営事務局にて決定し、参加者に 通知させていただきます。時間帯の希望はお受けできかねますので、予めご了承願います。

※より多くの施設の方にご参加いただきたいので、1施設からの申込み人数は2名以内でお願いします。

●ハンズオンセミナー(HS) 2

作ってみませんか?アレルギーっ子に優しいお料理を!

座長(講師):赤塚さおり、須川由利子、森谷尚子、徳田玲子(徳田ファミリークリニック)、アレルギーっ子の会ぽかぽか 日時:9月2日(土)13:30~16:30 定員:50名

「アレルギーっ子の会ぽかぽか」は、食物アレルギー・喘息・アトピー性皮膚炎などのアレルギー疾患を有する子どもと親の会で、津市を 拠点に三重県全域で活動しています。

近年、特に食物アレルギーをもつ子どもが増えていることもあり、少しずつではありますが、社会の理解も深まり、学校や園などを始 め、レストランやースーパーなどでも対応してくれるようになってきました。

今回の学会では、食物アレルギーをもつ子どもたちのことをもっと知ってほしい、そして、その家族を支援していきたい、との思いでア レルゲンを除去した料理教室を開催します。講師は、食物アレルギーの子どもをもち、毎日の食事作りに笑顔で奮闘している母親と、ア レルギーに特化した栄養士で、どんなことも安心して相談できる先生です。現在、月に一度、「だれでもSmile Kitchen」という親子で参加 できる料理教室を開催しています。

手軽に手に入る材料を用い、ちょっとした工夫やコツで、子どもが笑顔になれる、簡単で優しいお料理を一緒に作ってみませんか?

- ※1施設より何名でも参加可能です。
- ※食材および食器・エプロン等など御用意しますので、当日何も持たずに会場にお集まりください。
- ※当日、参加費を1,000円会場でいただきます。



●ハンズオンセミナー(HS) 3

『外傷と熱傷の湿潤療法』

湿潤療法ってどうするの?-子どもの熱傷&外傷への対応 基礎と応用

座長:岡田清春(おかだ小児科医院)、福田弥一郎(福田診療所)

講師:禹 満(禹小児クリニック)、宮原 篤(かるがもクリニック)、八木和郎(小児科八木医院)、浅井俊行(キッズクリニックありす)

日時:9月2日(土)15:00~17:30 定員:80名(8名10グループ)

消毒薬やガーゼを使用しない湿潤療法は、従来の治療法に比べ、痛みが少なく傷痕も綺麗になり、実施されている医療機関も増えて きています。

しかし一方では、湿潤療法で治療した経験がない場合なかなか手を出しにくいとか、外傷は経験があるが熱傷は手を出しにくいなどと いう話を聞きます。

また、湿潤療法が広がるにつれて発売される被覆材の種類も増え、どんな傷にどの被覆材をどの様に使ったら良いのか分からない、 という声もよく聞きます。

一昨年に引き続き、このハンズオンセミナーでは、前半で、湿潤療法の原理と手技の実際、被覆材の種類とその使い分け、肥厚性瘢痕 への対応、予後も含めた経過、簡単な外科的処置、などを提示します。さらに小グループに分かれて、被覆材を自由に使って、お互いの手や 人形に対して部位別にその使い方を実習します。

未経験だが一度触ってみたいと思う方、少し経験はあるけど未だ自信が無いという方のご参加を歓迎いたします。

※1施設からの参加は2名まででお願いします。

●ハンズオンセミナー(HS) 4 ※WSと時間が重なります 明日からできる!「体験型スキンケア教室」

座長(講師): 岡本まゆ美(医療法人双優会 つつじが丘こどもクリニック) 日時:9月3日(日)9:00~11:50 定員:60名(空きがあれば当日参加可)

乳幼児の肌は脆弱で外力に弱く、肌トラブルの有無に関わらず、スキンケアは欠かせません。また、近年では、経皮感作によるアレルギーの 発症についても問題視され、皮膚バリア機能の重要性が認識されています。湿疹を改善し、健やかな肌を保つには、効果的なスキンケア 方法を患者・家族に指導し、支援していくことが大切です。

今回、愛知県で2007年よりスキンケア教室を実践しているつつじが丘こどもクリニックのスタッフと、三重県の小児アレルギー エデュケーターが協同して、スキンケアセミナーを開催します。スキンケアを毎日継続してもらうには、意義を伝えるだけでなく、負担の 少ない実践しやすい方法を示すことが重要です。このセミナーでは、長年蓄積したノウハウを活かしたスキンケア教室の運営システムと その内容・効果についてお話します。その後、身近な資材を使って、泡立て・洗浄・保湿を指導スタッフと一緒に実践します。

基本的なスキンケアの方法や簡単にできるコツが分かれば、実際に指導する時の気持ちが全然違います!教室を開催してみたい方、 やりたいけれど、やり方が分からない方、ぜひ、明日からできる!「体験型スキンケア教室」を体験してください。

※職種は問いませんが、学生は不可とします。

※1施設からの参加は2名まででお願いします。 ※手ふきタオルをご用意ください。

●ハンズオンセミナー(HS) 5 ※WSと時間が重なります

『小児救急電話相談から学ぶ電話受付の応対』

電話には、保護者に対する姿勢とチームワークが現れる

座長(講師): 福井聖子((一社)大阪小児科医会 NPO法人小児救急医療サポートネットワーク)

日時:9月3日(日)9:00~12:00 定員:50名

「電話が苦手」「電話は危ない」「電話では何もできない」などの意見をよく耳にします。クリニックへの電話は、単なる問い合わせや 受診の相談などさまざまで、受診患者の保護者といっても、声だけの応対に戸惑うことはよくあります。われわれは年間5万件の相談 がある大阪府小児救急電話相談(#8000)の研修や本学会のワークショップを通して、電話を介する会話は診療現場の会話と異なる配 慮が要求され、そのための研修が必要と感じてきました。さらに保護者の立場に立って「聴く」こととクリニックの方針を整理して共有す ることが良い電話応対の背景として求められます。応対がスムーズになると診療にもイメージアップにもつながり、聴き取った内容は保護 者への指導の一環として重要な役割を果たすなど、日常診療に良い影響を及ぼす可能性を感じています。

まず電話の特徴を座学で学び、グループワーク前半は保護者の立場で電話の会話を考えます。後半は電話の録音を聞いて、ワイワイ 話し合ってみましょう。同じ音声でも人によって感じ方が違い、電話は一方的な指導を伝えるのではなく、「聴く」手段として有効であるこ とを理解し、伝え方の工夫も学ぶ機会になるでしょう。

●ハンズオンセミナー6 ※WSと時間が重なります

メディカルスタッフ対象救急処置

①心肺蘇生(CPR) ②気道異物除去

日時:9月2日(日)11:00~12:00 定員:30名

リーダー: 梅本正和(うめもとこどもクリニック(三重県津市))

サブリーダー:小菅聖志(津市消防本部)

スーパーバイザー: 今井 寛(三重大学救急部教授)

的:小児科外来にて実施する可能性のある、①CPRと、②気道異物処置の注意点を学ぶ

践:人形を使っての実践 ①胸骨圧迫と人工呼吸 ②年齢による異物除去手技の違い

学ぶこと: ①人工呼吸の1歳未満と1歳以上の手技の違い、胸骨圧迫の、1歳未満と1歳以上の違い

より良い胸骨圧迫の知識、胸骨圧迫は「全身に血液を送るため」と思っている誤解を解く

一人のときと二人のときのCPRの手技の違い、少し息をしている時に心肺蘇生はするかどうか?

②1歳未満と、1歳以上の気道異物除去の違い

12. 講演のご案内

会頭講演

人と出会いのリエゾン

落合 仁(落合小児科医院)

特別講演1

ここまでわかったアレルギー

藤澤隆夫(三重病院)

特別講演2

ワクチン感染症のこれまでとこれから

中山哲夫(北里大学北里生命科学研究所) 熊谷卓司(くまがい小児科)

特別講演3

子どもの未来を考える

自見はなこ(参議院議員)

会頭指定講演

赤ちゃん訪問の起源から子育てメッセージまで

ヘネシー澄子(元ニューヨーク大学社会福祉大学院)

教育講演1 アナフィラキシー

アナフィラキシーへの対応

伊藤浩明(あいち小児保健医療総合センター)

教育講演2 看護 ※メディカルスタッフ対象

小児の外来看護

及川郁子(東京家政大学)

教育講演3 ワクチン ※メディカルスタッフ対象

予防接種を安心してうけてもらうために

中野貴司(川崎医科大学総合医療センター) 神谷元(国立感染症研究所感染症疫学センター)

教育講演4 小児がん

小児がん治療の最近の進歩について

平山雅浩(三重大学大学院)

教育講演5 自己免疫疾患

一般外来でみられる自己免疫疾患の基本的なアプローチ

森 雅亮(東京医科歯科大学)

教育講演6 SUID(Sudden Unexpected Infant Death)

予測不能な乳児突然死

成田正明(三重大学大学院)

教育講演7 泌尿器

小児科医が診る腎・泌尿器科疾患-専門医コンサルタントまでの対応について-

林 祐太郎(名古屋市立大学大学院)

教育講演8 チャイルド・デス・レビュー(CDR)

予防できる子どもの死:チャイルド・デス・レビュー(CDR)

奥山眞紀子(国立成育医療研究センター)

教育講演9 小児外科

外来小児科で知っておくべき外科疾患について

内田恵一(三重大学医学部付属病院)

教育講演10 整形外科

乳児股関節健診、学校運動器健診の注意点

西山正紀(三重病院)

教育講演 1 1 眼科

最近の小児科のエッセンス

築留英之(三重大学大学院)

教育講演12 耳鼻科

気道異物を予防しよう! ~啓発の歩み:伝え方・広げ方~

坂井田 麻佑子(三重耳鼻咽喉科)

教育講演13 食物アレルギー

園・学校での食物アレルギー対応に向けた医療機関の役割

伊藤浩明(あいち小児保健医療総合センター)

教育講演14 ステロイド治療

アトピー性皮膚炎の正しい外用療法-安心・安全な使い方、教えます!-

福家辰樹(国立成育医療研究センター)

※演題名には「仮題」のものもありますのでご了承ください。

13. シンポジウム・スポンサードセミナーのご案内

シンポジウム

参加登録不要

■シンポジウム1【在宅医療】 多様化する小児の在宅医療を知ろう

- ①NICUから在宅移行する子どもの特性 盆野元紀(三重中央医療センター)
- ②病気をもった子どもの在宅支援-地域小児科ができること-折居恒治(折居クリニック)
- ③在宅医療 大人と子どもはどこが違うの? 南條浩輝(かがやきクリニック)
- ④中村知夫(国立成育医療研究センター) 小児在宅医療を通じた小児科医の地域連携

■シンポジウム2【乳幼児健診】 乳幼児健診 これが大事!

- ①母子保健の立場から:日本の乳幼児健診の事情と連携-課題と方策-山崎嘉久(あいち小児保健医療総合センター)
- ②クリニックの立場から:乳幼児健診の実際とクリニックで出来る支援 秋山千枝子(あきやま子どもクリニック)
- ③療育の立場から:乳幼児の社会性をみる視点と社会性をのばすかかわり 小倉尚子(公益社団法人発達協会)
- ④発達の支援の立場から:発達支援の視点からみる乳幼児健診での重要なポイント 平岩幹男(Rabit Developmental Research)

■シンポジウム3【性】 思春期の性の理解と支援

- ①思春期における軽度知的障害の女子における性的逸脱行動への介入 國分聡子(静岡県立清水特別支援学校)
- ②ナンパは性暴力である
 - 小栗正幸(特別支援教育ネット代表/宇部フロンティア大学)
- ③思春期世代へのライフプラン指導~中高生への性教育講話のなかで~ 金丸恵子(金丸産婦人科)
- ④『妊娠SOS』相談の現場から見る若者の性の課題と支援 松岡典子(NPOサポート法人MCみっくみえ)

■シンポジウム4【虐待】 虐待の最前線

- ①業務の変遷と児童相談所の今 ~三重の現状から~ 鈴木 聡(三重県児童相談センター)
- ②児童相談所・警察・検察・医療が連携して子ども虐待に対応する 山田不二子(認定NPO法人チャイルドファーストジャパン)
- ③虐待と医療そして子育ち支援 西田寿美(NPO法人ライフ・ステージ・サポートみえ)
- ④保護から養育へのパラダイムシフト 加賀美尤洋(社会福祉法人山梨立正光生園)

■シンポジウム5【発達障害】 発達障害対応エキスパート結集!

- ①発達障害をどう伝えるか
 - 林隆(西川医院)
- ②教育現場における発達障害のある子どもへの対応について 平松有吾(津市教育委員会)
- ③非臨床の現場で 定本ゆきこ(京都少年鑑別所)
- ④気づいてみんなでささえたい~地域における支援・連携の可能性~ 小野次朗(和歌山県発達障害者支援センター)

■シンポジウム6【救急看護】

小児科クリニックに今必要とされている小児救急看護

- ~メディカルスタッフだからこそできる&求められる小児救急看護~
- ①多職種によるトリアージスキルで(クリニック)医療安全を目指そう 市川光太郎(北九州市立八幡病院)
- ②小児救急医療の現状と看護の可能性 小山田 恵(名古屋掖済会病院)
- ③小児救急の問題点と私たちにできること~受ける立場から~ 阿真京子(一般社団法人知ろう小児医療守ろう子どもたちの会)
- ④クリニックにおける小児救急看護の実践 野村さちい(竜美ヶ斤小児科/小児救急看護認定看護師)

■シンポジウム7【食物アレルギー】 外来で出来る経口食物負荷試験

- ①川田康介(かわだ小児科アレルギークリニック)
- ②漢人直之(かんどこどものアレルギークリニック)
- ③松田 正(まつだ小児科クリニック)
- ④谷田寿志(社会福祉法人聖霊会聖霊病院)

■看護シンポジウム ※メディカルスタッフ対象

様々な場で子どもと家族に関わる看護の専門職から学ぶ

- ①米野悦子(にしむら小児科)
- ②渡邉圭子(三重県立総合医療センター)
- ③本田美奈(津市立相愛保育園)
- ④岸本茉莉(三重県立みえ夢学園高等学校)

■薬剤師シンポジウム ※メディカルスタッフ対象

薬剤師と医師が発信する育児支援~薬剤師にできること、薬剤師に期待して欲しいこと~

- ①黒木春郎(外房こどもクリニック)
- ②上荷裕広(すずらん調剤薬局)
- ③松本康弘(ワタナベ薬局上宮永店)
- ④三浦哲也(アップル薬局)
- ⑤森 吉寛(豊川市民病院)

スポンサードセミナー

参加登録不要

■スポンサードセミナー1 ワクチン【サノフィ】

「予防接種のトラブル防止の工夫」

座長:渡辺裕美(シロアムこどもクリニック)、石井美智代看護師(シロアムこどもクリニック)

- ①くまがいこどもクリニック「育児支援を見据えた接種スケジュール作成」
- ②片山キッズクリニック「任意接種の勧め方」
- ③シロアムこどもクリニック「ヒヤリハット事例の気づきと対策」
- ④松下こどもクリニック「誤接種防止への取組み」

■スポンサードセミナー2 ワクチン【ジャパンワクチン】

「日々診療でのワクチン啓発と今後」

座長:中山哲夫(北里生命科学研究所)

- ①渡辺正博(すずかこどもクリニック)「ムンプス診断13年間のまとめからみえるもの」
- ②吉川哲史(藤田保健衛生大学小児科)「水痘定期接種化後3年目を迎えて」
- ③片山和彦(北里生命科学研究所)「新しいノロウイルスのリスクとノロワクチン」
- ④長尾みづほ(三重病院)「安全なワクチン接種のために一アレルギーの視点から一」 「副反応の機序 アナフィラキシー」

■スポンサードセミナー3 ワクチン【MSD】

「リスクに応じたワクチン接種」

座長:南 武嗣(みなみクリニック)

- ①岡田賢司(福岡歯科大学)「子どもの健康リスクを考える」
- ②谷口清州(三重病院)「感染症疫学に基づくリスクアセスメント」
- ③菅 秀(三重病院) 「基礎疾患のある児への対応(免疫不全)」
- ④四柳 宏(東京大学 医科学研究所) [B型肝炎定期接種化後の問題]

[※]演題名には「仮題」のものもありますので、ご了承ください。

14. メディカルスタッフミーティングのご案内

参加登録不要

日 時:9月2日(土)15:00~17:30

会 場:三重県総合文化センター 文化棟B1F 第1リハーサル室

講師:蜂谷明子(蜂谷医院)

テーマ: 来てよかったと思われる"おもてなし"のお手伝い

15. オープンクリニックネットワークのご案内

【オープンクリニックネットワーク施設発表とスライドでみるオープンクリニック紹介】

池澤 滋(いけざわこどもクリニック・熊本県合志市) 松井祐治(松井小児科医院·大分県別府市) 米川元晴(おひげせんせいのこどもクリニック・札幌市)

当学会では、相互にクリニックを訪問し、診療や運営のノウハウを学びあうことを目的として、オープンクリ ニックネットワークがあります。今回、ネットワークからの見学を取り入れた新規開業した事例を紹介いたします。 又、「なかなかクリニックにいけないけれど、クリニックでこんな工夫や特徴的なことやっています |を募集 します。皆さんに紹介してみませんか?よろしくお願いいたします。

合わせて、オープンクリニックネットワークに一緒に参加しませんか?ご参加お待ちしております。

募集期間:2017年4月17日(月)~5月26日(金)

○発表施設募集:8施設

- ◎発表時間各8分+質問2分(スライド利用)
- ◎オープンクリニックネットワークより施設紹介 (おひげせんせいのこどもクリニック含め3施設予定)

■応募方法

年次集会公式ウェブサイト(http://web.apollon.nta.co.jp/sagpj2017/)から申込書をダウンロード して、Eメール(27th_sagpj@nta.co.jp)またはFAX(06-6342-0214)までお申し込みください。

第27回日本外来小児科学会年次集会運営事務局

(株)日本旅行 西日本MICE営業部内

〒530-0001 大阪市北区梅田1-11-4 大阪駅前第4ビル5階

担当:下村·坂巻

FAX: 06-6342-0214

16. 前夜セミナーのご案内

参加登録不要 無料 軽食付

年次集会の前日の夜に、講演会を開催いたします。医師の方にもメディカルスタッフの方にも興味深い講 演を用意しております。会員の方はもちろんのこと、会員以外の方でも自由に参加できます。事前登録は不要 ですので、奮ってご参加ください。

※軽食には限りがありますので予めご了承ください。

日 時:9月1日(金)19:00~20:00

会 場:ホテルグリーンパーク津

前夜セミナー1 ホテルグリーンパーク津 6F 伊勢

「心臓突然死を科学する」

講師:三谷 義英(三重大学医学部附属病院 周産母子センター)

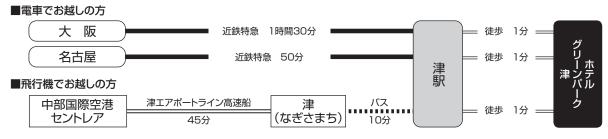
前夜セミナー2 ホテルグリーンパーク津 6F 安濃

「スタッフとともに考える院内感染」

講師:松島由実

(社会医療法人幾內会岡波総合病院 副看護部長、感染管理認定看護師、認定看護管理者)

交通アクセス





17. 託児室のご案内

申込期間:4月17日(月)~8月22日(火)17:30

会期中、託児室を開設いたします。 ご利用をご希望の方は下記をお読みのうえ、必ず事前にお申し込みください。

対 象:生後6ヶ月~小学生まで

開設日時:9月2日(土) 8:00~18:30

9月3日(日) 8:00~15:00

料 金: 1名1日あたり(税込) 3,000円(両日とも)

※託児料金は事前にお支払いただきます。

お支払方法はお申込後にお知らせいたします。

所:セキュリティ確保の為、お申込者のみにご案内いたします。 員: 両日とも12名(当日申込みはできません。定員になり次第締切らせていただきます) 定

お 願 い:昼食・おやつ・飲みものは各自でご用意ください。

■申込期限

8月22日(火)17:30まで

■申込み方法

第27回日本外来小児科学会年次集会(http://web.apollon.nta.co.jp/sagpj2017/)より、利用規約を お読みのうえ、下記までお申し込みください。

■申込み先

①WEBでの予約

下記URL WEB予約システムよりログインしていただき、必須事項をご入力のうえご予約ください。 https://cscs.alpha-co.com

②お電話での予約

075-212-7555(平日 9:30~17:30)

- 以下の項目をお伝えください。
- 1)保護者氏名(よみがな)・連絡先(携帯電話番号含む)
- 2) 託児希望日時
- 3)子どもの人数・年齢・名前(よみがな)・性別
- 4) 託児上の注意点(アレルギーなど)
- ご予約確認後、「利用規約」と「利用申込書」をお送りいたします。
- ※完全予約制となっておりますので、ご予約のない場合にはご利用いただけません。
- ※定員になり次第締め切らせていただきますので、予めご了承ください。
- ※お支払(ご入金)後の変更・キャンセルにつきましては返金できませんのでご注意ください。

■委託先(お問合せ)

(株)アルファコーポレーション http://www.alpha-co.com

(ACSA:公益社団法人全国保育サービス協会正会員)

TEL: 075-212-7555 担当:大正(たいしょう)・河村・新中(しんなか)

なお、不測の事故に対応するために、シッター会社が保険に加入しており、保険適用範囲で補償いたします。 また学会及び事務局は、事故の責任は負わないことを申し添えます。

18. 宿泊のご案内

申込期間:2017年4月17日(月)~8月18日(金)

■お申込み・お支払い・予約の変更・取り消しについて

- ◎事前参加登録と同様、年次集会公式ウェブサイトhttp://web.apollon.nta.co.jp/sagpj2017/) から お申し込みください。
- ◎インターネットの接続環境などによりお申し込みが出来ない場合は、(株)日本旅行 西日本MICE営業部 宿泊予約担当まで申込書をご請求いただき、FAXにてお申し込みください。
- ◎予約確定後、インターネットより申し込みの場合は予約確認メールが届きます。FAX申し込みの場合は、 請求書をお送りいたしますのでお手元に届き次第、予約内容を確認の上、お支払期日までにお支払ください。
- ◎お問い合わせにつきましては、行き違いを避けるため、必ずFAX・Emailなどの書面にてお願いいたします。
- ◎御予約の変更・取り返しは年次集会ウェブサイトから操作いただけます。変更・取消料金等を差し引いた 金額を、後日返金させていただきます。
- ◎お支払期日:2017年8月18日(金)までにお支払いください。

■宿泊ホテルについて(1泊朝食付・サービス料・税金込、お一人様の料金)

- ◎宿泊設定日:2017年9月1日(金)・9月2日(土)の2日間
- ◎会期中周辺ホテルの混雑が予想されます。早めのお申し込みをお勧めいたします。
- ◎先着順に受け付けいたします。満室の場合、申し訳ありませんが、空室のある他の施設をご利用ください。

■変更·取消料金

詳細は年次集会ウェブサイトに掲載しておりますので、ご確認ください。

■お支払いについて

お支払方法は、「クレジットカード決済」、「コンビニ決済」のいずれかにてお願いいたします。ご希望のお支 払い方法をお申し込み時にご選択ください。なお、手数料はお申込者にご負担していただきますのでよろしく お願いいたします。

■お申込み及びお問い合わせ

(株)日本旅行 西日本MICE営業部内『第27回日本外来小児科学会年次集会』

宿泊申込担当:谷·池田

〒530-0001 大阪市北区梅田1-11-4 大阪駅前第4ビル5階

FAX: 06-6342-0232 Email: wj_gakkai@nta.co.jp

受付時間:平日9:45~18:15(土日祝日休)



19. 市民公開講座のご案内

入場無料

日時:9月2日(土) 16:30~18:00 会場:三重県総合文化センター 大ホール

津市一身田上津部田1234 TEL: 059-233-1111

「フライドチキンの恐竜学~食卓の骨には進化のナゾがつまっている~」

講師:盛口満(沖縄大学人文学部 こども文化学科)

日時:9月3日(日) 13:15~14:45

会場:三重県総合文 中ホール

津市一身田上津田部1234 TEL: 059-233-1111

「子育てハッピーアドバイス」

講師:明橋大二(真生会富山病院 心療内科)



後援:三重県·三重県医師会·三重県小児科医会·津地区医師会·三重大学小児科学教室

20. 「桑名の千羽鶴」体験イベントのご案内

入場無料

「桑名の千羽鶴」に挑戦しよう!

桑名の千羽鶴ってご存知ですか?

千羽鶴といえば、必勝祈願などでよく見る、千羽の鶴を糸でつないだものを 思い浮かべますよね?

三重県桑名市には、一枚の和紙で数羽の連続した鶴を折る、連鶴の折り方が 江戸時代から伝承されています。

これは、2羽から最高97羽の鶴を、一枚の紙に切り込みを入れるだけで つなぐ独特の折り方で、桑名市の無形文化財にも指定されています。

立体的で様々な折り方がありますが、一羽の鶴を折ることができれば、 誰にでもできます。

全国の子どもたちの夢と希望をのせた千羽鶴が、世界中に羽ばたくように 祈りを込めて、「桑名の千羽鶴」に挑戦しましょう!

体験日時:9月2日(土)13時から16時まで

9月3日(日)10時から12時まで

体験会場:三重県立博物館

※体験の所要時間は30分程度です。





日本外来小児科学会入会手続きについて 21.

日本外来小児科学会への入会のご案内

※年次集会会場での入会手続きはできません。

入会を希望される方は、入会申込書に所定の事項を記入した上で、学会事務局へお申し込みください。役員会の 承認を経て、入会決定を通知します。承認後、入会金と年会費を納入してください。以上の手続き全てが終了した時 点で会員となります。

■入会手続き手順

- 1. 学会公式webから入会申込書(http://www.gairai-shounika.jp/)をダウンロードしてください。 入会申込書は、当ガイドブックや学会誌などにも添付してありますので、そのコピーでも結構です。
- 2. 「入会申込書」の各項目に記入し、学会事務局にお送りください。
- 3. 学会役員会(年4回開催)の入会審査で承認されますと、学会事務局より2週間以内に承認通知と入会金・ 年会費請求書をお送りいたします。
- 4. 入会金3,000円と当該年度の年会費を指定口座に納入してください。 年会費は、診療所・病院開設者は15,000円、それ以外の方は10,000円です。
- 5. 以上で入会手続き終了です。

<会員の推薦>

推薦文と推薦者署名は必須記載事項ではありません。

<入会金に関して>

入会に関しての諸経費としてお願いします。また、変更にも手数料がかかりますので(個々の会員には 請求していませんが)、大学などより出向中の方は、出来れば固定した住所をご登録ください。

<役員会承認に関して>

入会には、役員会での承認が必要です。役員会は基本的には年4回(2月・5月・8月・11月頃)開催され ています。

<年会費>

当学会の会計年度は、7月1日から6月30日までです。5月中旬に開催される役員会で入会が承認さ れた場合は、入会年度を御自身でお決めの上、ご入金ください。6月30日までに手続きが完了すれば、 当該年度の会誌をお送りします。次会計年度からの会費納入の場合は、新年度の発行号からの送付と なります。

■日本外来小児科学会·事務局 (入会事務取扱先)

〒169-0072 東京都新宿区大久保2丁目4番地12号 新宿ラムダックスビル 株式会社 春恒社 学会事業部内 TEL: 03-5291-6231 FAX: 03-5291-2176 E-mail: gairai-shounika@shunkosha.com

入会申込書

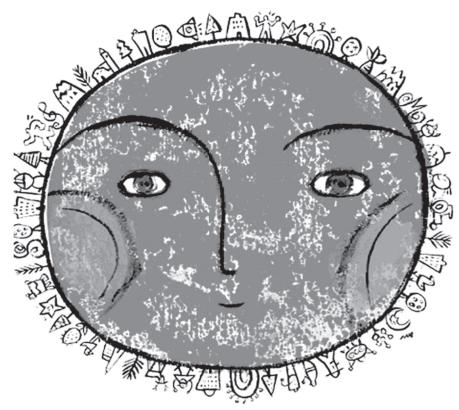
日本外来小児科学会 会長 殿		年 月 日
貴学会の目的に賛	情同し入会を申し込みます。	
ふりがな 氏 名: (自 署)	1.男 2.女	年 月 日生
□勤務先:□ 診療所・病院開設者また □ 上記以外 【会員種別□にもチェック√必ず記		
市町村名にふりがなを		
所 在 地〒□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	都道 府県	区 市都
TEL: E-mail;	FAX:	
市町村名にふりがなを		
□自宅住所〒□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	都道 府県	区 市都
TEL:	FAX:	
※勤務先、自宅のどちらかに郵便送付先として✓印を	· <u>入れて下さい。</u>	
職 種: 1.小児科医 □専門医 3.その他(具体的に ※ 小児科学会専門医の方はロ)
所属学会(医会): □日本小児科学会 □に✓印をつける □その他 (具体)		□ 日本小児科医会)
自 薦 文 (入会して何をしたいかをお書き下る	さい):	
 興味のある分野に√印をつけてください □診療		 ロその他()
	性薦人)は、必須ではあり	
推 薦 文 :		
		_
2	氏を日本外来小児科学会	会会員に推薦致します。
	学会会員 氏 名	(自署)

MEMO



新しい"ふれあい"のはじまり。

地域医療への貢献と医療・福祉サービスの充実をめざして
"人と人とのふれあい"をテーマに私たちKINKIYOKENは全力で取りくんでいます。
求めるものは"はじける笑顔"。
ひとつずつを積み重ね地域の皆様や先生方と
共有したいと願っています。





^{株式} 近畿予防医学研究所

KINKIYOKEN

〈本社/大津市湖城が丘19-9> 161077(522)7699

●臨床事業

大津営業所/大津市湖城が丘19-9 TEL077(522)7664 彦根営業所/彦根市小泉町138-1 TEL0749(22)8086 三 重 支 所/津市あのつ台4丁目6-6 TEL059(236)2001

- ■URL http://www.kinkiyoken.co.jp
- ●調剤事業 ふれあい薬局(近畿一円)/すこやか薬局 ■URL http://fureai-yakkyoku.jp/

●サービス付き高齢者住宅

ここあ守山/守山市勝部 3-10-34 Te.077(582)8556 ここあ石山/大津市栄町 2-5 Te.077(533)0600

メディカルフィットネスここあ守山 Tel077(514)0514 守山市勝部3-15-31の1

■URL http://kokoa.jp/

- 臨床事業部 -

高度医療インフラを構築するための 「電子カルテ」の販売を行っています 詳しくは、当社担当者にお問い合わせください。

お知らせと お願い!

▪調剤事業部 ·

地域医療への積極的な参画のため「ふれあい薬局」 「すこやか薬局」を展開しています。お知り合いの 薬剤師をご紹介ください。



沈降精製百日せきジフテリア破傷風不活化ポリオ(セービン株)混合ワクチン

|生物由来製品||劇薬||処方箋医薬品|(注意-医師等の処方箋により使用すること)

※効能・効果、用法・用量、接種不適当者を含む接種上の注意等については、 添付文書をご参照ください。



製造販売元 - 般別団法 阪大微生物病研究会 香川県観音寺市瀬戸町四丁目1番70号 〈資料請求先〉 吹田市山田丘3番1号



2015年7月作成(A4 1/2)

Panasonic

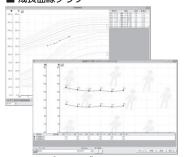
電子カルテの導入は私たちにお任せ下さい! 長年培ってきた圧倒的な ノウハウでご提案致します



診療所用医事一体型電子カルテシステム

Medicom-HRV

■ 成長曲線グラフ



■ バイタルグラフ

各種グラフにも対応。病状や 治療経過をわかりやすく説明

機器設定や修理などのハード 面から、システム・運用提案、 医療事務、スタッフ育成支援 などのソフト面まで、さまざ まな場面を心をこめてサポー トいたします。



パナソニック メディコムネットワークス株式会社

国内42営業拠点のネットワーク いつも近くにいる安心

三重営業所 TEL: 059 (221) 5587

ホームページでは、取扱い商品、 イベントのご案内など様々な情報 を随時更新中。こちらのQRコード かもアクセスしていただけます。



写真と映像の総合商社



代表取締役 堀 江 大 介

- ■メディカル事業部 ■ビジネスソリューション事業部 ■家電事業部
- ■カメラ・時計・宝飾品事業部 ■技術サービス事業部 ■フォトギャラリー

本 社 〒460-0011 名古屋市中区大須4丁目10-68(上前津北) TEL052(251)5221(大代表) FAX052(251)0322 http://www.kk-wakita.co.jp

営業所 岡 崎 ☎0564(52)7414 岐 阜 ☎058(275)1911 四日市 ☎059(353)7446

津 ☎059(227)5188 長 野 ☎026(228)5161 飯 田 ☎0265(24)5474

松 本 ☎0263(26)8166 金 沢 ☎076(252)4381 福 井 ☎0776(23)7489

富 山 ☎076(451)6525

力をあわせて、未来を守る

ワクチンで、この国のひとりでも多くの人々を病から守りたい。

そんな熱い想いを胸に、「ジャパンワクチン」は事業を推進しています。

ワクチンの研究開発で世界をリードするグラクソ・スミスクラインと、

日本のワクチン事業で確かな実績を築いてきた第一三共。

それぞれの強みを生かしたワクチンの専門企業が活動中です。

新しいワクチンの普及と、よりすぐれた混合ワクチンの開発などによって、

乳幼児から高齢者まで、この国のすべての人に信頼性の高い疾病予防を提供したい。

そして、予防接種の大切さや副反応についても、幅広く関係者の皆様と

手をたずさえて、調査研究や啓発活動を進めたいと考えています。

予防こそが、これからの医療の中核になる。

ましてや感染症の予防は、ひとりを守るだけでなく、

その周辺の人々、ひいては社会や、この国そのものを守ることになる。

そう信じる私たちは、新しい時代に向かって、力強く歩み続けていきます。





ジャパンワクチン株式会社

japanvaccine.co.jp



5価経口弱毒生ロタウイルスワクチン

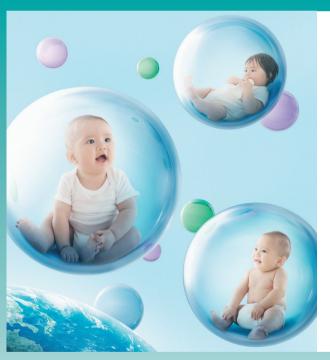
ウイルスワクチン類

薬価基準適用外

| 生物由来製品 | 劇 薬 | 処方箋医薬品(注意 – 医師等の処方箋により使用すること)



RotaTeq® 生物学的製剤基準



ウイルスワクチン類

薬価基準収載

劇 薬 処方箋医薬品:注意一医師等の処方箋により使用すること

イフライツクスー Heptavax[®] **II** 生物学的製剤基準: 組換え沈降B型肝炎ワクチン(酵母由来)

健保等一部限定適用

本剤のご使用にあたり、【接種不適当者】、【効能・効果】、【用法・用量】、【用法・用量に関連する接種上の注意】、【接種上の注意】等詳細は、製品添付文書をご参照ください。



製造販売元[資料請求先]

MSD株式会社

〒102-8667 東京都千代田区九段北1-13-12 北の丸スクエア Tel.(03)6272-1001 Fax.(03)6272-9136 http://www.msd.co.jp/